

名古屋市博物館

年 報

令和 4 年度

No.46

名古屋市博物館

はじめに

名古屋市博物館は中部地方を代表する歴史系の総合博物館として、尾張の歴史・文化に関わる資料の収集保存、調査研究を行い、また、国内外の優れた文化財を紹介する展覧会を開催し、地域の歴史・文化を見つめ直す機会を提供しています。本書は、当館が令和4年度に実施した事業の概要を報告するものです。

資料の収集、調査研究活動としては、263件1,445点の資料を収集し、秀吉研究の推進では、『豊臣秀吉文書集』第8巻を刊行しました。「よみがえれ文化財」事業では、積極的な館蔵資料の活用のために、「雪中美人図」「名古屋城下図」「龍髯杖画賛并句寄書」「竹図并句」などの修復を行いました。

展覧会では、共催展3本と企画展1本を開催しました。共催展として、アメコミ出版社DCのスーパーマンやバットマンなどのキャラクターからその歴史を紹介する「DC展」、猫を擬人化して描いた浮世絵を通して江戸時代の擬人化表現の面白さと浮世絵師歌川国芳の魅力に迫った「もしも猫展」、秦漢両帝国の死後の皇帝を守り続けた兵馬俑と両帝国の中心地域である関中（現在の陝西省）出土品を紹介した「兵馬俑と古代中国～秦漢文明の遺産～」を開催しました。企画展は、当館が収集した戦前の資料から、当時の社会に生きた人々のココロを紹介する「戦前を生きる～収蔵品が伝えるココロ～」を開催しました。

常設展「尾張の歴史」では、フリールームで、江戸時代の水道管理を新出の絵図で紹介する「『尾張名古屋埋枿之図』と幅下水道」、テーマ10で、重要文化財「時雨」を始めとする黒楽茶碗を紹介する「黒楽茶碗」などを展示替企画として実施しました。

これらに加え、まが玉づくりや昔のおもちゃを体験できる「歴史体験セミナー」、小学校3年生の社会科学習単元にあわせた「なごやのうつりかわり」事業を実施しました。

博物館の魅力向上に向けた取り組みでは、リニューアルに向けて展示・収蔵環境等の基本設計などに取り組みしました。

分館の名古屋市蓬左文庫では、「名物ー由緒正しき宝物ー」など2本の特別展と、5本の企画展を開催するとともに、講演会や蓬左文庫講座などを実施しました。

名古屋市秀吉清正記念館では、特別陳列「加藤清正ー戦国武将の信仰と祈りー」のほか、2本のパネル展示、3本の特集展示を開催しました。

名古屋市博物館はこれからも、地域の歴史・文化を市民の皆様を紹介するという使命を全うできるよう努めてまいります。また、リニューアル改修を通じて、時代の変化に即した博物館に生まれ変わり、市民や来訪者の学習の意欲・関心を高めるとともに、より一層親しまれる博物館となるよう職員一同、取り組んでまいります。引き続き、皆様のご助力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月
名古屋市博物館

目 次

はじめに

事業概要

I 展 示 -----	3
1 常設展 2 特別展 3 大学パートナーシップ 4 その他	
II 教育・普及 -----	10
1 広報 2 学校連携活動 3 教育普及活動 4 出版物	
III 資 料 -----	13
1 調査 2 収集 3 特別利用 4 資料の貸出 5 収集資料目録	
6 指定・認定文化財一覧（館蔵資料） 7 指定・認定文化財一覧（受託資料）	
IV 管理・運営 -----	26
1 博物館の魅力向上 2 みんなの博物館応援基金	

分 館

I 名古屋市蓬左文庫 -----	27
1 閲覧 2 展示 3 教育普及 4 調査研究 5 出版物 6 特別利用	
7 複写 8 資料点数 9 資料の貸出 10 指定文化財一覧（所蔵資料）	
II 名古屋市秀吉清正記念館 -----	32
1 展示 2 教育普及等 3 特別利用 4 資料の貸出 5 資料収集一覧	
6 資料収集状況 7 指定文化財一覧（館蔵資料）	

機 構 -----	36
-----------	----

名古屋市博物館協議会開催状況 -----	38
----------------------	----

予 算 -----	38
-----------	----

名古屋市博物館利用状況 -----	39
-------------------	----

- | | |
|--|--|
| 1 特別展 2 常設展 3 月別入場者数 4 ギャラリー・講堂利用日数 | |
| 5 年度別入場者数 | |

出版物案内 -----	43
-------------	----

事業概要

I 展示

1 常設展

常設展では旧石器時代から現代までの尾張の歴史を16のテーマに分け、約1,000点の実物・複製資料により紹介している。愛知県と連携して作成した三河など周辺地域に関連する複製資料も展示し、より広い視点で尾張の歴史を紹介している。

長期間展示できない資料や新収品などはフリールームやテーマ10などで、小テーマを設定して展示している。本年度は「古墳時代の形いろいろ」「黒楽茶碗」「虫送り」などを開催した。

展示解説としては、説明キャプション、写真パネルのほか、ボランティアによる「展示ガイド」などを行っているが、感染症拡大防止対策のため、5名、15分以内という制限（12月3日以降、時間制限廃止）のもと、展示ガイドを行った。

観覧料 一般 300円 高大生 200円

中学生以下無料

観覧者数 66,715人

(1) フリールームの展示替

「館蔵映画資料展」

会 期 3月23日～4月24日

展示意図 映画館のビラやパンフレット、プロマイドなど映画に関係した収蔵資料を展示した。

展示件数 30件79点

「名古屋職人図鑑」

会 期 4月27日～6月26日

展示意図 桶屋、大工、三味線屋など、近年受贈したさまざまな職種の道具類を紹介。名古屋で営んだ職人の世界を展示した。

展示件数 9件78点

「古墳時代の形いろいろ」

会 期 6月29日～8月21日

展示意図 古墳時代には、様々な形の焼き物・埴輪、色とりどりの石製品、鈴のついた鏡など、今見ると不思議な形のものがある。こうした古墳時代の多彩な形を紹介した。あわせて、実験的に展示解説をスマートフォンなど電子媒体でも読める試みをした。

展示件数 40件60点

「伊勢湾台風63年」

会 期 8月24日～10月23日

展示意図 伊勢湾台風当時の人びとの体験や、被害の大きかった南区白水・柴田学区の今昔、平成元年に公開されたアニメ映画『伊勢湾台風物語』について、館蔵資料から紹介した。

展示件数 11件91点

「尾張名古屋埋拵之図」と幅下水道

会 期 10月26日～12月18日

展示意図 江戸時代の名古屋城下西部に敷設され、近代まで使われていた幅下水道の管理の実態を新出史料から紹介した。

展示件数 6件9点

「なごやのうつりかわり」

会 期 令和5年1月4日～3月25日

展示意図 「交通」「土地利用」「道具」などのテーマについて、明治時代から現在までの間に暮らしを変えたできごとを紹介し、名古屋市や人々の生活がうつりかわる様子をたどった。※常設展テーマ15も対応。

展示件数 42件60点

(2) 近世尾張の文化（テーマ 10）の展示替

「よろいとかぶと」

会 期 3月23日～4月24日

展示意図 尾張藩士の家に伝来した様々な形のよろいとかぶとを紹介した。

展示件数 5件5点

「黒楽茶碗」

会 期 4月27日～6月26日

展示意図 本阿弥光悦 作「黒楽茶碗 銘『時雨』」（重要文化財）を中心に、館蔵の黒楽茶碗をまとめて展示することで、手捏ねによる味わい深い魅力を紹介した。

展示件数 10件10点

「春江院の襖絵」

会 期 6月29日～8月21日

展示意図 市内にある曹洞宗寺院・春江院（緑区大高町）の書院から、江戸時代後期の作である襖絵（表裏併せて八面）を紹介した。

展示件数 1件4点

「博物館と地域連携」

会 期 8月24日～10月23日

展示意図 博物館や博物館資料を大須商店街など地域の人々が活用した事業を紹介。博物館の地域連携事業というだけでなく、館や資料の文化資源としての魅力を考える展示。

展示件数 5件6点

「清野一幸の屏風」

会 期 10月26日～12月18日

展示意図 江戸時代前期に尾張藩の御用絵師をつとめた清野一幸の「唐人物図押絵貼屏風」、「花鳥図押絵貼屏風」を前後期で展示。

展示件数 2件4点

「版木からみる」

会 期 令和5年1月4日～2月26日

展示意図 版木や原稿をとおして、「制作」という観

点から尾張の地誌『尾張名所図会』と『名区小景』を紹介。

展示件数 15件29点

「没後 200 年 田中訥言」

会 期 令和5年3月1日～4月23日

展示意図 「日月図屏風」や「若竹鶺鴒図」、「羅陵王図」など、尾張出身の画家、田中訥言（1767～1823）による優品と名古屋に伝来する作例を前後期に分けて紹介。

展示件数 6件7点

(3) まつり（テーマ 16）の展示替

「橋弁慶図屏風」

会 期 3月23日～4月24日

展示意図 『名古屋祭』の著者として知られる伊勢門水が、能「橋弁慶」を題材として描いた屏風を紹介した。

展示件数 1件1点

「鹿子神社山車模型」

会 期 4月27日～6月26日

展示意図 東区新出来（西之切）の山車「鹿子神車」について、山車関係者が手作りで制作した模型を展示した。

展示件数 1件1点

「虫送り」

会 期 6月29日～8月21日

展示意図 虫送りの行事に使われた道具の中から「サネモリ（斎藤実盛）」と呼ばれるワラで作られた人形などを紹介した。

展示件数 3件6点

「戸田白山社山車のからくり人形」

会 期 8月24日～10月23日

展示意図 中川区戸田では10月第一土日に、戸田まつりが行われ、5輦の山車が曳き出される。まつりに登場する山車のひとつ、白山社山車のからくり人形を紹介した。

展示件数 3 件 3 点

「花祭の祭具」

会 期 10 月 26 日～12 月 18 日

展示意図 奥三河の「花祭」で神事や舞、花宿の飾りに使用された「切り草」などの祭具の数々を紹介した。

展示件数 15 件 26 点

「正月の遊び」

会 期 令和 5 年 1 月 4 日～2 月 26 日

展示意図 小学 1 年生の生活科の単元に対応して、福笑いやすごろく、凧揚げなど正月の伝統的な遊びとその道具を紹介した。

展示件数 17 件 21 点

「屋根神」

会 期 令和 5 年 3 月 1 日～4 月 23 日

展示意図 軒先や屋根にまつられている屋根神さま。近年受贈した屋根神の祠と、市内各所で撮影された屋根神の風景を紹介した。

展示件数 3 件 3 点

(4) 話題のコーナー

「サネモリ様でコロナ退散！」

会 期 7 月 27 日～8 月 21 日

展示意図 稲につく害虫や疫病の退散を願う「人形送り」に使われた「サネモリ（斎藤実盛）」や「ダンダンモウセ」と呼ばれる人形を中心に、コロナ禍の収束を祈念して展示した。

展示件数 6 件 12 点

(5) 博物館ボランティアの活動

本年度に活動したボランティア登録人数 72 名
《活動状況》

・開館日の 10 時から 15 時まで、常設展ガイドとして活動。毎日 2 人。1 日 2 回の定時ガイド（人数・時間制限あり／11 時～、14 時～）、随時ガイド（人数・時間制限あり）を実施した。いずれも申込制。寺子屋・古文書の会という勉強会も隔月で再開した。

定時ガイド実施人数延

348 名

随時ガイド実施人数延

216 名

・歴史体験セミナーの運営補助

※感染症防止策のため参加中止

・なごやのうつりかわり体験学習室の運営補助

※感染症防止策のため参加中止

・定例総会 4 月 9 日

・全体会 12 月 3 日

・勉強会 5 回（4/22、7/20、12/11、1/29、3/19）

・見学会 4 回（5/25、10/5、11/17・20）

(6) イキイキ博物館

「尾張の歴史」や博物館自体に親しんでもらえるよう各種イベント、ワークショップなどを開催した。

ア はくぶつかんクイズラリー

「秀吉さまのねこさがし」

日 時 7 月 27 日～8 月 28 日（29 日間）

9 時 30 分～17 時

会 場 常設展示室内

参加費 無料、ただし高校生以上は常設展入場料（特別展もしも猫展の半券でも入場可）

概 要 「秀吉さまのかわいがっていた猫が逃げ出した！」という設定のもと、常設展示室内をめぐり、ヒントを得て、猫を探し出すクイズラリー。4 種類、各 4 問のワークシートを用意し、参加者は難易度を選んで取り組んだ。今回は大人向けのコースも設定し、子どもから大人まで楽しめるクイズになるよう努めた。展示してある資料や解説をよく見ることで、展示資料への関心をもってもらえるようなクイズとした。参加後は難易度ごとに解説と秀吉からの感謝状（褒美）を渡した。

参加数 延 1,247 人

イ はくぶつかん古書市

日 時 9 月 10 日～9 月 19 日

9 時 30 分～17 時

会 場 展示説明室前

概 要 郷土史・歴史書の古書販売を、名古屋古書

籍商業協同組合の協力により実施した。

ウ 考古学セミナー

共 催 (公財)愛知県教育・スポーツ振興財団、愛知県埋蔵文化財センター

日 時 10月22日13時～16時・10月23日 10時～16時

会 場 展示説明室・講堂

概 要 愛知県内の最新の発掘調査成果から、古代の交通や流通にスポットをあて、文化庁文化財二課の近江俊秀氏による講演「古代の東海地方の流通と交通」が行われた。併せて「集落の変遷」、「古代寺院の展開」、「土師器甕の分布」をテーマとした3本の基調報告があり、発表者をパネラーに迎えたパネルディスカッションを行うシンポジウムが開かれた。そのほか、愛知県内および近隣の考古学の最新情報を考古学関係者が報告発表するプレゼンテーション・ポスターセッションを開催した。

参加数 延333人

(シンポジウム・プレゼンテーション参加者:10月22日92人・23日56人/定員100名)

エ 名古屋市博物館サポーターMAROの活動

MAROは、名古屋市立大学と名古屋市博物館の連携による、地域の活性化を目指す名古屋市立大学の公認団体。平成20年以来、当館にて学生主導の活動を行っている。本年度は、感染症拡大防止対策を十分に春に直面イベントを実施した。秋以降は、名古屋市博物館の魅力紹介を目的として、SNS・ブログ・YouTubeの配信、パネルの設置、フリーペーパーの配布をおこなった。

・まちがいさがしイベント「WANTED 博物館元通り大作戦」

日 時 4月29日・30日 10時～15時30分

会 場 常設展示室

参加費 無料、ただし高校生以上は常設展入場料(特別展DC展の半券でも入場可)

概 要 博物館常設展示室を荒らした“にせまろ”

を突き止めるイベントとして企画された。常設展示室内に設置されたパネルから間違い探しを解きながら、“にせまろ”を探し出すものである。

参加数 29日221人・30日160人

・「どえりゃあ気になる名市博—あなただけの“推し展”に出会おう—」

配 信 令和5年1月4日から

概 要 学生が常設展示室にある興味を抱いた展示資料について、SNS・ブログ・パネルを通じて学生目線からイラストも交えながらユニークに紹介した。YouTubeでは「やよい女子トーク」と題する弥生時代の女の子3人のトークを配信した。

2 特別展

(1) 特別展 DC展 スーパーヒーローの誕生

会 期 3月8日～5月8日

(開室日数54日)

会 場 特別展示室・部門展示室

主 催 名古屋市博物館、中日新聞社、東海テレビ放送、テレビ愛知、東海ラジオ放送

観 覧 料 一般1,500円 高大生900円
小中生500円

観覧者数 23,148人

展示意図 世界的な人気を博すバットマンやスーパーマン、そして近年大人気となったジョーカーなどを生み出したアメコミ出版社・DC。貴重な出版当時のコミックや設定資料、映画の衣装や小道具などから、時代とともに姿を変え、オリジナルのキャラクターと物語を作り続けるDCの80年以上の歴史と魅力に迫った。

展示件数 547点

印 刷 物 ポスターB1・B2・B3判、チラシA4判、子どもチラシA5判(ぬり絵付き)、観覧券、展覧会案内状、図録、商店街タイアップマップ

関連事業

・DC展トークショー

4月3日

25人

講師 中谷直登氏(映画評論家)、ヴィトル氏(映画ナビゲーター)

80人

・DC コスプレデー

4月9日・16日

(2) 特別展 もしも猫展

会 期 7月2日～8月21日

(開室日数 44 日)

会 場 特別展示室・部門展示室

主 催 名古屋市博物館、中京テレビ放送

観 覧 料 一 般 1,600 円 高大生 1,000 円
小中生 500 円

観覧者数 23,576 人

展示意図 猫の擬人化作品と、それらを描いた歌川国芳を主軸に据えながら、江戸時代の擬人化表現の面白さと国芳作品の魅力に着目。「くらべてみる」をキーワードとすることで、作品を細部まで鑑賞することを促し、国芳のアイデアの豊富さや作画上における工夫に理解が及ぶことを目指した。

展示件数 135 点

印 刷 物 ポスターB1・B2・B3 判、チラシ A4 判、先行ポストカード、子どもチラシ A5 判、観覧券、展覧会案内状、出品目録、「くらべるクイズ」ワークシート、図録

関連事業

・記念講演会(事前応募定員 110 人)

7月16日

「国芳、猫を描く」

講師 津田卓子(当館学芸員) 88人

・「もしも猫展」名古屋市動物愛護センター連携事業

①ペットの災害対策展 あなたとペットは大丈夫?

8月9日～8月15日

会場 博物館展示室前

②ペットの災害対策講座(事前応募定員 70 人)

8月14日

「あなたとペットは大丈夫?」

講師 鳴海大助氏(名古屋市動物愛護センター)

(3) 特別展 日中国交正常化 50 周年記念 兵馬俑と古代中国 ～秦漢文明の遺産～

会 期 9月10日～11月6日

(開室日数 49 日)

会 場 特別展示室・部門展示室

主 催 名古屋市教育委員会・名古屋市博物館、中日新聞社、東海テレビ放送、東海ラジオ放送

後 援 外務省、中国大使館、公益社団法人日本中国友好協会、JR 東海

特別協力 駐名古屋中国領事館

協 賛 DNP 大日本印刷

観 覧 料 一 般 1,800 円 高大生 900 円
小中生 500 円

観覧者数 90,059 人

展示意図 秦の始皇帝は約550年続いた戦国時代を終結させ、史上初めて中国大陆に統一王朝を打ち立てた。始皇帝の墓に眠る等身大の兵馬俑はその絶大な国力を今に伝える。秦の滅亡後、劉邦が西楚の項羽を破り中国を再統一した漢王朝は秦の国家制度を引き継ぎ、やがて黄金時代を迎えた。小さな騎馬俑から始まった兵馬俑は、なぜ大きさが変化していったのか?本展では、秦漢王朝の中心地域であった現在の陝西省の出土品を中心に、兵馬俑のダイナミックな展示と日本初公開の中国国家一級文物を含む約200点から、古代中国史の謎に迫る。

展示件数 124 件約 200 点

印 刷 物 ポスターB1・B2・B3 判、チラシ A4 判、子どもチラシ A5 判(ぬり絵付き)、観覧券、展覧会案内状、出品目録、商店街タイアップマップ、図録

関連事業

・記念講演会(事前応募定員 110 人)

9月10日

「兵馬俑と古代中国の歴史」

講師 鶴間和幸氏(学習院大学名誉教授) 105人

・展示説明会（事前応募定員 70 人）

9 月 18 日

講師 西澤光希（当館学芸員） 54 人

10 月 8 日

講師 富田航生（当館学芸員） 54 人

・プチワークショップ（事前応募定員 30 人）

「見て描いて楽しむ兵馬俑！」

9 月 24 日 10 時 30 分～11 時 30 分 13 人

10 月 15 日 10 時 30 分～11 時 30 分 11 人

10 月 15 日 13 時 30 分～14 時 30 分 23 人

講師 西澤光希（当館学芸員）

(4) 企画展 戦前を生きる ～収蔵品が伝えるココロ～

会 期 令和 5 年 1 月 21 日～3 月 5 日

（開室日数 36 日）

会 場 特別展示室

主 催 名古屋市教育委員会・名古屋市博物館

観 覧 料 一般 300 円 高大生 200 円（本展単独券）
小中生無料

観覧者数 4,331 人

展示意図 名古屋市博物館の収蔵品の中から、戦前
の大日本帝国での “当たり前” の日常” を
しめす資料を展示し、憲法やモラルなどが
異なる戦後の今の私たちが共感あるいは
違和感を持つ心情を浮き上がらせる。

展示件数 67 件 119 点

印 刷 物 ポスター B3 判、チラシ A4 判、観覧券、空
襲疎開資料集、出品目録

関連事業

・展示説明会（事前応募定員 70 人）

1 月 28 日

講師 加藤和俊（当館学芸員） 36 人

・テーマ別資料講座（事前応募定員 70 人）

講師 加藤和俊（当館学芸員）

① 2 月 11 日「絵本とポスターを中心に」 26 人

② 2 月 18 日「学童の集団疎開を中心に」 22 人

③ 2 月 25 日「行幸と勅語資料を中心に」 25 人

④ 3 月 4 日「出征兵士と銃後を中心に」 32 人

3 大学パートナーシップ

大学生に博物館の楽しさ、素晴らしさを知ってもら
うため、平成 22 年 4 月 1 日より大学パートナ
ーシップ事業を始めた。学生証の提示により展覧会を観覧
できることで大学等と博物館の連携をはかった。

15 法人 22 大学：公立大学法人名古屋市立大学、学校
法人菊武学園（名古屋産業大学、名古屋経営短期大学、
菊武ビジネス専門学校、専門学校名古屋ウェディング
& フラワー・ビューティ学院）、名古屋大学、南山大
学、愛知大学、愛知淑徳大学、学校法人名古屋学院大
学、中京大学、学校法人愛知学院、学校法人中西学園
（名古屋外国語大学、名古屋学芸大学、名古屋ファッ
ション専門学校、名古屋栄養専門学校、名古屋製菓専
門学校）、豊田工業大学、金城学院大学、椋山女学園
大学、愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学、名古屋
造形大学

利用者数 5,362 人

4 そ の 他

陸前高田市立博物館新館開館記念特別展 未 来への約束 ～博物館が守り伝えるふるさとの たからものたち～

会 期 令和 5 年 2 月 23 日～3 月 12 日

（開室日数 15 日）

会 場 ギャラリー1

主 催 東北発 博物館・文化財等・防災力向上プ
ロジェクト実行委員会・名古屋市博物館

観 覧 料 無料

観覧者数 881 人

展示意図 東日本大震災被災後、令和 4 年 11 月に
開館した陸前高田市立博物館新館で開催
された開館記念特別展を、友好館である名
古屋市博物館において再現するとともに、
令和元年東日本台風で被災し、再生した川
崎市市民ミュージアムと長野市立博物館
の資料も展示することによって、文化財を
守り伝える取り組みを紹介した。

展示件数 105 点

印刷物 ポスターB2判、チラシA4判、出品目録

関連事業

- ・展示解説会（当日受付、先着 70 人）

3 月 11 日

「川崎市市民ミュージアムの取り組み」

講師 谷拓馬氏（川崎市市民ミュージアム学芸員）

「長野市立博物館の取り組み」

講師 原田和彦氏（長野市立博物館学芸員）

「陸前高田市立博物館の取り組み」

講師 熊谷賢氏（陸前高田市立博物館主任学芸員）

浅川甲子氏（陸前高田市立博物館元学芸員）

25 人

Ⅱ 教育・普及

1 広 報

各展覧会に関するプレスリリースやポスター・チラシの配布を幅広く行うとともに、当館の取り組み全般について、ウェブサイトやSNSを活用した直接的な情報発信を積極的に行った。

ウェブサイトアクセス件数（UA, GA4 併用）※
575,346 件

※従来の計測方法であるユニバーサルアナリティクス（以下UA）が令和5年7月1日にサポート終了することを踏まえ、令和4年8月からは後継となるGoogle アナリティクス4（以下GA4）の運用を開始した。上記の件数はUA（令和4年4月～7月分）とGA4（令和4年8月～令和5年3月）を併用して算出したアクセス件数である。

Facebook 投稿数 137 件
Twitter 投稿数 534 件

2 学校連携活動

名古屋市内の小中学校および高校と連携しながら、学校における博物館の活用促進や学生の歴史学習意欲の向上を目的としている。例年のように各種の学校連携事業を実施したが、コロナ感染者数の減少と共に、参加者学校数や児童数は回復してきた。

(1) 出前歴史セミナー

教育委員会と博物館、美術館、科学館等が行っている「その道の達人派遣事業 出前ミュージアム」の一環として実施している事業である。学芸員が小中学校に出向き、実物資料を用いて説明する出前授業である。

○「学区の遺跡博士になろう」

要請なし

○「愛知のまつりとからくり人形」

7 校（19 学級 540 人）

○「合戦における火縄銃」

9 校（20 学級 615 人）

○「東大寺に行くナラ」

10 校（20 学級 541 人）

計 26 校（59 学級 1,696 人）

※キャンセル1校

(2) 社会科学学習連携事業

名古屋市立小中学校の社会科研究会教員の協力を得て、小中学生が博物館の展示を見学して効果的に学習できるように、考慮すべき点や館蔵資料の魅力の伝え方、学習方法について意見を交わした。

本年度は、博物館の改修工事に伴う休館及びリニューアル開館を見据え、常設展示室の計画についての学校利用の課題や学校現場の状況、授業における博物館資料の活用（ICT 含む）のアイデアなどについて、意見交換を行った。

(3) なごやのうつりかわり体験事業

小学校3年生社会科の学習課程に合わせ、なごやがうつりかわる様子を常設企画展示「なごやのうつりかわり」で紹介し、関連事業として体験的に学習できる体験学習室を開室した。学校利用のない土曜・日曜・祝日は、広く市民の利用に供した。

団体利用 平日 9 時 30 分～14 時 45 分

期 間 令和5年1月11日～3月10日

小計 32 日 13,604 人（213 校）

※キャンセル1校

一般利用 土日祝 9 時 30 分～16 時 30 分

期 間 令和5年1月14日～3月12日

小計 19 日 1,814 人

計 15,418 人（引率教員を含む）

(4) 職場体験・職場訪問の受け入れ

中学生・高校生の職場体験・職場訪問の受け入

れを行った。

職場体験：5校 16人

職場訪問：9校 26人

(5) 博物館実習生の受け入れ

大学における博物館関係科目専攻者・学芸員資格取得予定者の受け入れを行った。

期間 8月18日～23日

延5日間 7校 10人

また大学における博物館関係科目の授業の一環として行われるバックヤード見学を受け入れ、学生を案内した。ただし、狭隘なバックヤードで感染症予防のための適切な間隔を保てないため、大人数での見学申込についてはお断りした場合もある。

3校 39人

(6) 団体観覧

団体観覧は、一般団体をはじめ小中高校生による常設展「尾張の歴史」の見学が主なものである。常設展と特別展への参加学校数や児童生徒数は、59校の計1,635人だった。

3 教育普及活動

展覧会だけでなく体験型のイベントや講座、外部への学芸員派遣などを通じて、多様な教育の機会を提供するとともに、博物館に親しんでもらえるよう各種事業を実施した。

(1) 歴史体験セミナー

おもに小中学生を対象に、学校休業日(土・日)、夏休みおよび冬休みに博物館を利用してもらうために、楽しみながら学べる体験型プログラムとして実施した。

○「むかしのおもちゃで遊ぼう」

けん玉・人形など、少し昔のおもちゃで自由に遊べる体験コーナーを設置。

7月12日～8月28日 3,977人

○「自分だけのまが玉づくり」

加工しやすい石(滑石)を使ってまが玉を作るイベントを開催。

8月20日・21日 68人

○「ミニ屏風をつくろう」

屏風の歴史や仕組みを学びながら、おうちに飾れるミニ屏風をつくる。

11月5日 49人

○「正月のおもちゃ」

双六や福笑いといったお正月に多く見られたおもちゃで自由に遊べる体験コーナーを設置。

12月6日～令和5年1月9日 1,253人

(2) はくぶつかん講座

第1回から10回まで実施した。定員70名、事前申込の先着順で参加者を受け付けた。

第1回 4月23日 「博物館資料の収集と保存」

学芸主査 山田伸彦 53人

第2回 5月21日 「出征兵士からの手紙」

学芸員 加藤和俊 34人

第3回 6月4日 「松平君山の巡河日課と河渠図」

学芸員 鈴木雅 55人

第4回 7月9日 「古墳時代の造形」

学芸課長 瀬川貴文 58人

第5回 7月23日 「尾張七宝の美」

学芸員 横尾拓真 58人

第6回 9月17日 「博物館と地域連携」

学芸係長 武藤真 31人

第7回 10月29日 「奥三河の民俗文化」

学芸員 天野卓哉 49人

第8回 11月19日 「新出資料から見えてくる

幅下水道のすがた」

学芸員 岡村弘子 54人

第9回 令和5年 「名所絵のつくりかた」

2月18日

学芸員 津田卓子 64人

第10回 令和5年 「高蔵1号古墳と熱田の古墳」

3月18日

学芸課長 瀬川貴文 54人

計510人

(3) 派遣依頼等対応

他の研究機関、自治体及び団体等で実施される講演会等について、依頼に基づき当館学芸員を派遣した。

- 7月12日 梶山女学園大学 博物館実習（学内実務実習）講師 岡村 弘子
- 10月18日 熱田生涯学習センター なごや学
マイスター講座講師 津田 卓子
- 10月25日 熱田生涯学習センター なごや学
マイスター講座講師 山田 伸彦
- 10月28日 南山大学 全国大学博物館学講座
協議会西日本部会研修会講師 武藤 真
- 11月12日 大阪狭山市教育委員会 狭山池シ
ンポジウム2022 講師 鈴木 雅
- 12月3日 静岡県立美術館 「軋川図と蘭亭
曲水図」記念シンポジウム講師 横尾 拓真
- 通年 豊田市役所 新修豊田市史総集編部会
民俗班執筆協力員 天野 卓哉
- 通年 東京大学史料編纂所 附属画像史料解
析センター共同研究員 津田 卓子
- 通年 中津川市 遠山家伝来資料調査工芸品
調査員 佐野 尚子
- 通年 西尾市教育委員会 西尾市史調査員
横尾 拓真
- 通年 神戸町教育委員会 神戸山王まつり記
録作成委員会委員 佐野 尚子

計 11 件

(4) 博物館サポーター

令和5年3月1日現在の正サポーターは55人、
家族サポーター2人、総計57人であった。

○館外見学会

感染症拡大防止対策のため、中止。

○広報モニター会

特別展 「もしも猫展」

7月3日 18人（0人）

特別展 「日中国交正常化50周年記念 兵馬俑
と古代中国～秦漢文明の遺産～」

9月14日 26人（2人）

企画展 「戦前を生きる～収蔵品が伝えるコ
ロ～」

令和5年1月28日 13人（0人）

※（ ）内はサポーターの同伴者

4 出版物

（展覧会に関する印刷物は展示の項に記載）

○「名古屋市博物館だより」（年2回発行）

No. 234 A4 変形判 6頁 3,800部（無料）

木村慎平「ビールと国旗と勝男武士日露戦争
時の軍隊宿泊日記と軍事郵便」

塚原明子「豊楽焼木具写吸物碗」

横尾拓真「彭城百川の絵文字」

No. 235 A4 変形判 6頁 3,800部（無料）

木村慎平「猿猴庵日記—記録作家・猿猴庵の
原点—」

天野卓哉「日本映画博覧会」

富田航生「館蔵資料から遺跡を見る—大曲輪
遺跡・下内貝塚—」

○「名古屋市博物館年報」No. 45（令和3年度）

博物館公式ウェブサイトに掲載

○「名古屋市博物館研究紀要」第46巻

A4判 48頁 700部 500円（税込）

小西恒典「愛知県の明治天皇聖蹟」

鈴木雅 「アニメ映画『伊勢湾台風物語』の
宣伝活動と記念碑—広江邦生氏
へのインタビュー—」

加藤千沙 研究ノート「豊臣秀吉発給贈答札
状からみる対馬宗氏」

亀井久美子 研究ノート「平時継申文につい
て」

○「年間行事予定」 A3判 30,000枚（無料）

○猿猴庵の本 第29回配本

『猿猴庵日記 天明四年』

A4判 78頁 950部 1,200円（税込）

Ⅲ 資 料

1 調 査

(1) 資料情報

本年度に市内外から寄せられた資料に関する情報は、下表のように計 103 件であった。本年度も感染症拡大防止のため接触・訪問を避ける風潮があり調査しにくい状況が続いた。

資料情報件数		件 数
地域別	市 内	65 件
	市 外	27 件
	不 明	11 件
	計	103 件
分野別 (重複含)	考 古	5 件
	美術工芸	18 件
	文書典籍	39 件
	民 俗	41 件

(2) 調査研究

ア 秀吉研究の推進

この研究の目的は、全国に多数存在する豊臣秀吉の文書の情報を集積し、編年により翻刻掲載した『豊臣秀吉文書集』を刊行することにある。平成 25 年度に当該分野の研究者による同文書集の編集委員会を発足させ、平成 26 年度 1 月に第 1 巻を発刊した。以後毎年 1 巻ずつ刊行している。

令和 2 年度までで、慶長 3 年の秀吉死去までの文書を収録した編年分(1～7 巻)の刊行を終えた。

本年度は、計 4 回の編集会議を行い、補遺と年未詳文書を収録する第 8 巻の刊行と、最終巻である 9 巻(総目録・索引)の編集作業を行った。

この他、国立国会図書館・東京大学史料編纂所での調査を行い、文書情報の収集につとめた。

イ 猿猴庵の本の出版

尾張藩士・高力猿猴庵が祭り・見世物・開帳などを記録した絵入り本を、原寸大カラー写真で掲載、翻刻・解説を付けて博物館資料叢書として継続的に出版している。本年度は、第 29 回目の配本として『猿猴庵日記 天明四年』を発刊した。

2 収 集

(1) 資料収集方針

考古・美術工芸・文書典籍・民俗の各分野において基本方針と目標を定め、資料の収集を行った。

ア 考古分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の考古に関する資料

日本考古学上基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の個人コレクションの収集

○各時代・時期に当地域が属した「文化圏」内で出土したことが明らかな資料の収集

○出土地域に関わらず、以下の諸点において、当地域との関連が深いと認められる資料の収集

○資料自体が当地方の生産品であることが明らかな資料

○資料自体が当地方の属した「文化圏」の影響を受けている、あるいは当地方の属した「文化圏」に影響を及ぼしていることが明らかな資料

イ 美術工芸分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の美術工芸に関する資料

日本美術全体の流れの上で基準となる資料

〔目標〕

○名古屋を中心とする地域の画家および俳人の書画の収集

○同上地域の武将の肖像画や合戦図などに関連する資料の収集

○同上地域の武器・武具の収集

○同上地域の寺社で保有する文化財の一括収集

○陶磁器・金工・七宝・漆工芸・染織については、年紀銘、作者銘を有するもの、時代様式を端的に備えるもの等、基準資料たりえるものの収集

○彫刻については、全国レベルでみての重要資料の収集

○著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

ウ 文書典籍分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の歴史に関する資料
日本史全体の流れの上で基準となる資料
〔目標〕

- 尾張の町方・村方文書など、一括資料の収集（尾張以外の尾張藩領を含む）
- 尾張関係の典籍の収集（尾張の出版物・尾張に関する人物の著作など）
- 名古屋市街図・地籍図の収集（尾張以外の尾張藩領の図を含み、広域図の場合は優品で価値の高い資料）
- 尾張に関する文書・記録、および尾張に関する人物の文書・記録などの収集
- 尾張に所在した歴史的価値が高い資料の収集
- 地域にこだわらず、古文書学上、基準的様式を具備する各時代の基本的文書の収集
- 地域にこだわらず、書誌学上、重要な典籍類の収集（代表的な出版物・写本など）
- 著名なコレクションで散逸の恐れがある資料の収集

エ 民俗分野

〔基本方針〕

名古屋を中心とする地域の民俗に関する資料
日本民俗全体の上で基準となる資料
〔目標〕

- 名古屋を中心とする地域の民俗芸能用具ならびに儀礼・信仰関係用具の収集
- 民俗事象を表す写真・映像・音源などの収集
- 地域的な特色を示す衣・食・住に関する資料の積極的な収集
- 名古屋を中心とする地域の災害関係資料の収集
- 商業に関する資料の体系的な収集
- 機械化されていない諸職用具の収集（製品見本、製作工程見本の製作依頼を含む）
- 農具・養蚕具・製紙用具・亜炭採掘用具・漁具については館蔵品の補完的収集
- 絞りについては、海外のものも含む重点的な収集
- 名古屋を中心とする地域の遊戯具・玩具・食玩の収集（製作依頼を含む）
- 明治以降の産業資料のうち、時計、バイオリン、企業が製造した製造機械の収集

(2) 収集資料の概要

本年度は、受贈と購入により、263 件 1,445 点の資料を収集した。これにより収集資料の累計は、25,325 件 277,161 点 となった。

寄託資料は 1 件 1 点を受け入れた。また 4 名からの寄託を解除した。

ア 考古分野

考古分野では 14 件 67 点の資料を受贈した。

令和 4 年度受贈した資料は全て守山区在住の個人が収集・保管していたものである。勝手塚古墳、上島 1 号墳、守山瓢箪山古墳など、現在の名古屋市守山区に所在する古墳出土の須恵器片や埴輪片を中心とする。形象埴輪片や全形のわかる平瓶などもあり、令和 3 年度に資料登録を行なった旧守山市の資料群を補完する内容である。ただし一部「山島古墳」「日ノ後窯跡」など現在知られていない遺跡名称の記録があり、遺跡（出土地）の場所や現在の遺跡名との対応関係について今後検討を進めていく必要がある。

イ 美術工芸分野

美術工芸分野では 4 件 4 点の資料を受贈した。尾張藩大筒役を務めた太田市郎平家のご子孫より火矢筒と伝書類を受贈した。石火矢というミサイル状の弾を飛ばす砲であり、尾張の藩流儀を伝える貴重な資料である。

また、美術品等取得基金所管の動産として尾張藩士酒井林左衛門家伝来の武具を購入した。馬面、陣太鼓など現存例の少ない武具を伝えており、紺糸威五枚胴具足は江戸時代中期の中級武士の甲冑として基準的な資料である。

ウ 文書典籍分野

文書典籍分野では、66 件 408 点の資料を受贈し、1 件 1 点の資料を購入した。また、美術品等取得基金所管の動産から 3 件 4 点を買戻し（移管）した。

受贈資料については、江戸時代の尾張藩士や名古屋城下の商家に伝来した一括資料を受贈したほか、大正から昭和前期にかけての軍事関係の資料も多く受贈した。

「菅井家文書」は名古屋城下関鍛冶町で信州問屋（信濃国から中馬によって運ばれる荷を扱う問屋）を営んだ菅井家に伝来した、5 千点を超える文書

群である。大福帳など商家経営に関する基本資料のほか、信濃国への荷送りに関する資料、同家が町代を務めた関鍛冶町に関する資料も含まれる。すでに一部の資料は『新修名古屋市史』『愛知県史』などで紹介されており、名古屋城下の商家にまとまって伝わった資料として高い価値を持つ。

「片桐家資料」「河野家資料」「川澄家資料」は、いずれも尾張藩士の家に伝わった資料である。片桐家は廃藩置県後に士族授産事業として行われた旧尾張藩士族による北海道八雲開拓に関わっており、同事業に関する資料が豊富である。河野家は槍術等の師範を務めた家で、門人帳や掟書を記した額など道場に関する資料が中心である。川澄家は当館北に隣接する川澄町一帯を知行した尾張藩士で、家の由緒を伝える資料が中心である。

「馬島家資料」は西春日井郡下河原村の村役人を務めた馬島家に伝来した資料である。江戸時代の村政に関わる記録のほか、日露戦争で戦死した軍人・馬島儀三郎に関する資料など、明治以降の資料が多数含まれる。

「質屋商知多屋関係資料」は、戦前に市内で営業していた質屋の資料である。その記録中に高力猿猴庵の著作がまとめて質入れされた記載があり、当館所蔵の猿猴庵作品の伝来を考える上で重要な情報を含んでいる。

購入資料については、重要文化財「豊臣家文書」を一括で購入した。本資料は豊臣秀吉の妻・北政所（高台院）の兄、木下家定を祖とし、江戸時代には備中国足守を治めた大名・足守木下家に伝来した文書群である。その内容は、秀吉・秀次が関白へと上り詰める過程を示す朝廷からの文書、明国との和平交渉に関する資料、徳川秀忠の書状など、豊臣家が栄華を極めた時代を物語る、極めて貴重な一次資料である。北政所没後、その実家である足守木下家に渡ったと考えられる。豊臣家の栄華を語る中核資料であり、秀吉の出生地において秀吉研究を担う当館を象徴する資料として、幅広い活用が期待できる。

このほか、美術品等取得基金所管の動産から、「名陽旧覧図誌 巻一」「高田山開帳参案内図会（折助咄後編）」「寛文二年尾州名護屋図 附 津嶋図」を買い戻した。

「名陽旧覧図誌 巻一」は、尾張藩士の高力種信（猿猴庵）が、名古屋周辺の名所や年中行事を描いた名所図会の転写本である。

「高田山開帳参案内図会」も同じく猿猴庵の著作であり、名古屋城下の信行院で行われた高田山専修寺の出開帳を題材とした滑稽本である。

「寛文二年尾州名護屋図 附 津嶋図」は、寛文2年に制作された名古屋城下と津島を描いた絵図である。名古屋城下図としては極めて古い絵図であり、家臣名が記された絵図としては最古である。津嶋図も江戸時代における絵図としては最古級の絵図である。

エ 民俗分野

民俗分野では175件961点を受贈した。

主な資料としてはまず、ショウロウザラが挙げられる。守山区の個人宅で、盆の3日間（8月13日～15日）にオショウロイサマへお供えする際に使用されていた。盆行事の道具類を受贈する機会が減多になく、非常に貴重な資料である。

また、鈴木バイオリン製のバイオリンも1点収集することができた。鈴木バイオリン製品の所蔵は少ない上に、本資料は明治期に西区大船町の旧家の娘が使用していたものであり、来歴が確かな点からも貴重である。

また、名古屋市南図書館より、長年未整理の状態にあった伊勢湾台風関係の未登録資料を受贈した。名古屋市西区役所や名古屋市教育館の伊勢湾台風後の対応に関する資料や、アニメ映画『伊勢湾台風物語』の原画・セル画など、伊勢湾台風関係の貴重な資料が多数含まれている。

美術品等取得基金所管の動産としての購入資料の人足札は、尾張藩の土木工事現場で使用されたもので、附属の木箱の墨書から、天保期以降使用されたものであることがわかる。木札の一枚一枚に「水」や「普」といった焼印が押してあり、犬山市内の旧家に伝来したものであることから、木津用水または入鹿用水の普請に際して、尾張藩の水役所または普請方役所の下で使用されたものと見られる。尾張藩の用水管理業務の一端を示す資料として、調査研究や展示での活用が期待される。

(3) 「よみがえれ文化財」事業

当館が所蔵する資料の中には、劣化などのため、そのままでは展示・活用できない資料がある。そうした資料を後世に伝え、活用していくための修復などを目的として基金をつくり、市民の寄附を募り、事業を行った。

○対象とする主な事業

- ・博物館資料（写真資料等）のデジタル化
- ・博物館資料（金属等）の保存処理
- ・博物館資料（絵画・文書等）の修復
- ・博物館資料（刀剣等）の研ぎ
- ・博物館資料の展示具の製作

上記のほか、資料の修復・保存・活用などを目的とする。

○本年度に実施した事業

「雪中美人図」「名古屋城下図」「龍髯杖面賛并句寄書」「竹図并句」の修復

○本年度寄附実績

個人 34名 2,069,000円

団体 2件 50,000円

計 36件 2,119,000円

○寄附者（公開に同意の方のみ、受付順、敬称略）

葵美術グループ、福島佐千男、加藤景之、佐久間洋一

【令和4年度名古屋市博物館資料収集状況】

	令和4.4.1～令和5.3.31						総合計（令和5.3.31現在）					
	受 贈		購 入		計		受 贈		購 入		計	
	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点	件	点
0 総 集	-	-	-	-	-	-	58	126	156	206	214	332
1 考 古	14	67	-	-	14	67	2,977	123,718	283	1,717	3,260	125,435
2 絵 画												
3 彫 刻	4	4	-	-	4	4	2,601	14,585	875	1,312	3,476	15,897
4 工 芸												
5 文 献	66	408	4(3)	5(4)	70	413	7,310	68,322	2,051	18,278	9,361	86,600
6 生 活												
7 生 産	175	961	-	-	175	961	8,715	47,553	270	1,216	8,985	48,769
8 民 俗												
9 自 然	-	-	-	-	-	-	29	128	-	-	29	128
計	259	1,440	4	5	263	1,445	21,690	254,432	3,635	22,729	25,325	277,161

* ()は基金からの買い戻し(基金による購入資料は基金動産から市備品に移管したときに計上する。)

3 特 別 利 用

	熟覧	模写	模造	拓本	原板使用			撮 影			計
					(1)	(2)	小 計	(1)	(2)	小 計	
利用申請件数	47件	5件	0件	0件	105件	15件	120件	3件	1件	4件	176件
資料件点数	2,303件 2,473点	14件 14点	0件 0点	0件 0点	240件 246点	93件 93点	333件 339点	14件 14点	1件 1点	15件 15点	2,665件 2,841点

(1) 出版物、テレビ放送などへの掲載(使用)目的

(2) 調査研究目的

4 資料の貸出

貸出期間	貸出先(会場)	貸出目的(展覧会名・会期)	おもな貸出資料
4月1日～ 令和5年3月31日	見晴台考古資料館	常設展 4月1日～令和5年3月31日	銅鐸形土製品(複製) 1件1点
4月1日～ 令和5年3月31日	体感!しだみ古墳群 ミュージアム	常設展 4月1日～令和5年3月31日	白鳥第1号噴出土資料 はじめ7件14点
4月1日～ 令和5年3月31日	美濃加茂市民ミュージアム	常設展 4月1日～令和5年3月31日	二ツ塚遺跡出土資料のうち 石匙 はじめ11件43点
4月5日～ 6月24日	三重県総合博物館	名所発見、再発見!～浮世絵で めぐる三重の魅力～ 4月16日～5月15日	伊勢参宮図屏風 1件1点
7月11日～ 9月30日	あいち朝日遺跡ミュージアム	弥生人といきもの2022 シカをねえ! 7月23日～9月19日	動物型土製品 1件1点
8月1日～ 11月30日	佐賀県立名護屋城博物館	肥前名護屋、煌めく ―豊臣秀吉と桃山文化― 9月16日～11月6日	天正大判 1件1点
9月1日～ 令和5年6月30日	①三井記念美術館 ②徳川美術館	大蒔絵展―漆と金の千年物語― ①10月1日～11月13日 ②令和5年4月15日～5月28日	花樹鳥獣蒔絵螺鈿聖龕 はじめ4件4点
9月1日～ 11月4日	石川県立美術館	加賀宝生のすべて―能面と能装束― 10月6日～10月23日	紫紬地金唐花飛模様摺箔 (附畳紙) 1件1点
9月1日～ 12月30日	京都国立博物館	京に生きる文化 茶の湯 10月8日～12月4日	黒楽茶碗 銘時雨 はじめ2件2点
9月2日～ 9月15日	名古屋栄三越美術館	生誕110年 やまと絵 小寺礼三 展 9月7日～9月13日	法華経巻一第九紙 はじめ2件2点
9月20日～ 12月20日	神戸市立博物館	よみがえる川崎美術館―川崎正蔵が 守り伝えた美への招待― 10月15日～12月4日	牡丹唐草文花瓶 はじめ9件9点 (寄託品含む)
10月1日～ 12月28日	実践女子大学香雪記念資料館	まなび、伝えた女性画家たち 9月18日～11月23日	桜花蜂図 はじめ2件2点
10月3日～ 令和5年2月10日	愛知県陶磁美術館	平安のやさもの―その姿、うつろいゆく 10月29日～令和5年1月15日	四足壺 はじめ5件6点

10月6日～ 12月1日	大谷大学博物館	仏法東帰―大仏開眼へのみち― 10月11日～11月28日	三寶繪 1件1点
11月1日～ 12月25日	名古屋城西の丸御蔵 城宝館	本丸御殿に秘められた意味―將軍たるもの、清貧であれ、人格者たれ― 11月19日～12月18日	帝鑑図画帖 1件1点
12月12日～ 令和5年3月13日	体感！しだみ古墳群 ミュージアム	守山区小幡の三大古墳―池下古墳・小幡長塚古墳・小幡茶臼山古墳― 12月20日～令和5年3月12日	脚付七連蓋杯 はじめ3件13点
12月15日～ 令和5年2月10日	熱田神宮宝物館	美術品で初詣～熱田で諸社へも初詣～ 令和5年1月1日～1月24日	尾張名所図会 はじめ2件5点
令和5年1月17日～ 3月17日	掛川市二の丸美術館	徳川家康と掛川三城ゆかりの武将物語―戦国の世から悩み、苦しみ、生き抜いた武将たち― 令和5年1月28日～3月12日	築城図屏風 はじめ2件2点
令和5年2月1日～ 4月10日	静岡市美術館	東海道之美 駿河への旅 令和5年2月11日～3月26日	東街便覧図略 はじめ14件18点
令和5年3月1日～ 6月30日	名古屋城西の丸御蔵 城宝館	家康とお嫁様 名古屋城と春姫お輿入れ 令和5年3月18日～6月18日	風俗図 はじめ2件4点 (寄託品含む)
令和5年3月1日～ 6月30日	京都国立博物館	親鸞―生涯と名宝 令和5年3月25日～5月21日	二河白道図 1件1点 (寄託品)
令和5年3月15日～ 12月31日	①三井記念美術館 ②岡崎市美術博物館 ③静岡市美術館	NHK 大河ドラマ特別展「どうする家康」 ①令和5年4月15日～6月11日 ②令和5年7月1日～8月20日 ③令和5年11月3日～12月31日 ※各会場で展示替えあり	長篠合戦図屏風 はじめ2件2点 (①②の貸出について。③は3件4点だが、令和5年度貸出のため除外した)
令和5年3月24日～ 6月20日	愛知県美術館	近代日本の視覚開化 明治―呼応し合う西洋と日本のイメージ 令和5年4月14日～5月31日	百華文耳付大壺 はじめ6件6点 (寄託品を含む)
計	貸出先総件数 23件		貸出資料総件点数 81件140点

※分館での展示は除く

5 収集資料目録

(1) 受贈資料一覧（分類順）

分類	資料名	点数	時代
100	出土地不明資料	1 括	縄文～近世
110	山島古墳出土資料	8 点	古墳～古代
110	山沖遺跡付近出土資料	22 点	古墳～中世
110	東谷山出土資料	4 点	縄文～中世
110	守山区吉根地区出土資料	1 点	縄文～中世
110	守山区内出土資料	1 点	古墳～中世
114	勝手塚古墳出土資料	12 点	古墳
114	上島 1 号墳出土資料	1 点	古墳
114	守山瓢箪山古墳出土資料	2 点	古墳
114	羽根古墳出土資料	1 点	古墳
114	守山古墳出土資料	3 点	古墳
114	北区味鉢出土資料	4 点	古墳
116	日の後窯跡出土資料	5 点	中世
125	一宮市荻原中学校光堂跡出土資料	2 点	平安時代か
252	陶淵明採菊図	1 幅	大正
419	籠形花入	1 口	昭和
483	刀銘 越前住播磨大掾藤原重高	1 口	江戸前期
494	火矢筒 銘 太田流	1 門	江戸時代後期
501	菅井家文書(菅井家資料)	1 括	江戸時代～昭和
501	和本(菅井家資料)	1 括	江戸時代～昭和
501	絵葉書(菅井家資料)	1 括	江戸時代～昭和
501	墨斎禅師書幅(菅井家資料)	1 幅	江戸時代～昭和
501	墨跡(菅井家資料)	1 幅	江戸時代～昭和
501	祐良阿弥陀経(菅井家資料)	1 幅	江戸時代～昭和
501	書状「女院…」(菅井家資料)	1 幅	江戸時代～昭和
501	二月堂焼経切(菅井家資料)	1 面	江戸時代～昭和
501	花暦(菅井家資料)	1 帖	江戸時代～昭和
501	手鑑(色紙)(菅井家資料)	1 帖	江戸時代～昭和
501	片桐家資料	1 括	江戸時代～昭和
501	十一屋資料Ⅱ	1 括	明治前期～昭和前期
501	馬島家資料	1 括	江戸時代～昭和
503	河野家資料	1 括	江戸時代
503	川澄家資料	1 括	江戸時代

526	門人帳断簡	1 点	江戸時代後期
531	〔品触書〕	1 枚	明治
533	愛知県東警察署空襲関係資料	6 綴	昭和前期～後期
533	岩塚町実測図面 町北之部	1 綴	昭和前期
534	妊産婦手帳	3 冊	昭和
534	旭廓・中村遊郭関係資料	4 点	明治～昭和後期
534	質屋商知多屋関係資料	5 点	明治～昭和前期
534	人力日記	1 綴	明治
534	疎開児童宛手紙	21 通	昭和前期
534	昭和二十年日記	1 冊	
534	日記	7 点	昭和前期～後期
534	修学旅行記	1 冊	
534	帳簿	5 点	昭和後期
534	日記	1 括	昭和前期
534	金銭出納簿	1 括	昭和前期
534	Diary	1 点	昭和
534	日記「想い出づる俚に」	1 点	昭和
537	贈呈状	1 枚	昭和前期
537	大日本帝国憲法	1 点	明治
538	郡上出材共同組事務所資料	4 綴	明治
538	妊産婦手帳始	1 冊	昭和前期
553	太田流棒火矢之書	8 点	明治
553	百目玉棒火矢之目録	1 点	江戸時代後期
555	勤儉詔勅俗解	1 冊	
555	日用百科知識の華	1 冊	
572	名古屋市全図	1 部	昭和前期
588	『富士』 第二十卷第二號	1 冊	昭和前期
588	昭和十二年版毛糸編物大全集	1 冊	
588	雑誌類	17 点	昭和前期～後期
588	航空朝日	1 括	昭和前期
588	航空少年	1 括	昭和前期
588	飛行少年	1 括	昭和前期
588	飛行少年	1 括	昭和前期
588	機械化	1 括	昭和前期
588	科学朝日	1 括	昭和前期
589	『家中みんなの下着』	1 冊	昭和後期

593	写真（名古屋まつり）	3 枚	昭和後期
593	箱孫商店写真	4 枚	昭和後期
593	摂政宮東宮妃殿下御尊影	1 括	
593	写真	1 括	
593	名古屋市街写真	1 括	昭和後期
593	中村義郎写真資料	253 点	昭和後期
594	〔写真ネガアルバム〕	1 冊	昭和後期
595	観光名古屋絵葉書	1 組	明治後期
595	鳳来寺勝景絵葉書	1 組	昭和前期
595	葉書	1 括	明治～昭和前期
595	絵葉書	1 括	昭和前期
597	パンフレット「ひらかた大菊人形」	1 点	昭和後期
597	スペースニュース Vol.4	1 部	平成
597	伊勢湾台風物語 製作上映ニュース NO.2	1 部	平成
599	伊勢湾台風物語ポスター	9 枚	平成
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション 12	21 点	昭和後期
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション 13	21 点	昭和後期
600	脇田夫妻収集民俗資料コレクション 14	22 点	昭和後期～平成
602	小出家生活資料 3	1 括	昭和後期
610	手織工房やまもも収集染織品	1 括	明治～昭和
610	着物	1 括	大正～明治
610	着物	1 括	昭和
611	ねんねこ半纏	3 点	昭和後期
611	羽織	1 点	明治
611	丹前	2 点	明治後期
611	着物	1 点	平成
611	着物	14 点	昭和
611	羽織	4 点	昭和
611	アンサンブル着物	1 組	昭和前期
611	上っ張り	1 点	昭和
611	コート	1 枚	大正～昭和前期
611	丹前	2 点	昭和
611	ねんねこ半纏	1 点	昭和後期
611	着物	1 点	平成
612	スーツ	1 式	明治後期
612	ベスト	1 点	昭和
613	腹当	1 点	昭和後期
613	背負紐	1 点	昭和

613	乳バンド	1 点	昭和後期
613	半襟	1 括	明治～昭和前期
613	帯	1 点	大正
613	前掛	1 点	昭和後期
613	半幅帯	1 点	昭和前期
613	帯	1 点	昭和
614	山高帽	1 点	明治～昭和前期
615	革靴	2 点	明治後期
615	足袋	3 足	昭和前期
615	靴ベラ	3 点	昭和後期
616	番傘	1 本	昭和後期
616	マント	1 枚	大正～昭和前期
617	てがら	3 点	明治～昭和前期
617	髪飾り	1 括	明治～昭和前期
617	バリカン道具	1 括	昭和後期
618	重掛	1 枚	明治
618	筥迫	1 点	明治～昭和前期
618	袋	4 点	昭和
618	ミノムシ製品	3 点	昭和
618	ミノムシ製品	1 点	昭和
618	「名古屋まつり」手ぬぐい	2 点	平成
619	針台	1 点	明治～大正
619	針	2 点	明治～昭和前期
619	鼻緒製造機	1 点	昭和前期
619	アイロン	1 括	大正～昭和
619	アイロン箱	3 点	大正～昭和
619	裁縫箱	1 点	明治～昭和
619	鋏	1 点	明治～昭和
623	行平	1 点	昭和後期
624	片口	1 点	昭和後期
624	杵	1 点	昭和
627	土瓶	1 点	昭和後期
627	牛乳瓶の栓抜き	3 本	昭和後期
627	膳椀	1 括	大正～昭和
628	重箱	4 点	大正～昭和
628	切溜	1 組	明治～昭和
629	菓子型	14 点	昭和後期
635	カイロ用ベンジン	1 点	昭和後期
635	懐炉	1 点	昭和後期
635	鉈	1 点	明治～昭和前期

635	練炭の着火具	1 点	昭和
642	琴	1 点	明治
645	メンコ	1 括	昭和後期
645	名古屋東照宮祭山車玩具	9 点	昭和後期
645	愛国百人一首	1 点	昭和前期
645	お買い物合わせ	1 点	昭和前期
645	絵本	7 点	昭和前期～後期
645	日本歴史地図	1 冊	昭和前期
645	硯箱	1 点	昭和前期
646	バイオリン	1 丁	明治
649	伊勢湾台風物語セル画・原画	1 括	平成
649	伊勢湾台風物語 予告編	1 巻	平成
649	伊勢湾台風物語	5 巻	平成
649	伊勢湾台風物語 特報	1 巻	平成
649	伊勢湾台風物語 予告編	1 巻	平成
651	給食用食器	1 組	昭和後期
651	本地学校卒業証書（付：賞状・メダル）	1 括	
651	幼稚園集合写真	1 点	
651	メモ帳	1 点	昭和
651	新出漢字筆順表	1 冊	昭和
651	学校出納簿	1 点	明治初期
651	「愛知軍政部よりの質問票提出について」	1 点	昭和
651	新教育方針	1 点	昭和
651	没収出版物目録	1 点	昭和後期
651	処分焼失図書明細	1 点	昭和後期
654	コンパス	1 点	昭和前期
655	薬箱	1 点	昭和後期
655	薬箱	1 点	大正～昭和
658	算盤	2 点	昭和
658	寒暖計	1 点	昭和
658	そろばん	1 点	昭和後期
659	一斗枰	2 点	明治～昭和
663	「咄天罡鬼神」木札	5 点	昭和後期～平成
663	「蘇民将来子孫」木札	4 点	昭和後期～平成
663	「大福神」木札	1 点	昭和後期～平成
672	林和靖車図色紙	1 枚	昭和後期
673	五月人形	1 括	昭和前期
673	五月人形	1 組	昭和後期
674	精霊皿	15 枚	近代

678	写真（江川町三四五丁目雷神車建造記念）	1 点	昭和後期
678	アルバム（山車「雷車」）	1 点	平成
678	大森郷祭祭礼衣装	5 点	昭和後期
678	馬道具	41 点	明治～昭和前期
678	火縄銃 銘「地鉄鍛巻張 摂州住井川与三兵衛 □□作」	1 挺	江戸時代
678	湯呑	1 対	昭和後期
678	皿	2 点	昭和後期
678	名古屋まつり粗品	2 点	昭和後期
681	振袖	1 点	昭和前期
681	皿	1 点	昭和後期
682	乳母車	1 台	昭和前期
682	ビタドールゼリー	1 点	昭和後期
690	山田家従軍関係資料	15 点	明治～昭和前期
691	消防用具	3 点	昭和後期
693	伊勢湾台風記録写真	1 冊	昭和後期
693	伊勢湾台風被害状況写真	2 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風慰霊祭風呂敷	1 点	昭和後期
693	消防隊活動特報「伊勢湾台風」と消防隊活動」	1 部	昭和後期
693	「一災害記録映画－伊勢湾台風」パンフレット	2 部	昭和後期
693	〔伊勢湾台風遺族関係資料〕	12 点	昭和後期
693	伊勢湾台風被害状況写真	2 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風被害状況写真	1 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風被害状況写真	1 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風被害状況写真	1 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風被害状況写真	1 綴	昭和後期
693	特集番組 あらしの中の子ら 第四部”くつ塚”	1 綴	昭和後期
693	伊勢湾台風あれから七年－制作 MEMO－	1 綴	昭和後期
693	東京だより伊勢湾台風と名古屋市	1 綴	昭和後期
693	愛知紡績株式会社半田工場被災状況	1 綴	昭和後期
693	名古屋市教育館伊勢湾台風資料	34 点	昭和後期
693	名古屋市西区役所伊勢湾台風資料	328 点	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	3 枚	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	5 枚	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	18 点	昭和後期
693	〔伊勢湾台風写真アルバム〕	1 冊	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	10 枚	昭和後期

693	〔伊勢湾台風被害写真〕	20 枚	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	49 枚	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	8 枚	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	6 枚	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	18 枚	昭和後期
693	罹災証明書	1 枚	昭和後期
693	名古屋市台風特報 第 1 号	1 部	昭和後期
693	どろ水と戦った十日間	1 冊	昭和後期
693	伊勢湾台風 その被害と 応急処置	1 冊	昭和後期
693	〔伊勢湾台風被害写真〕	15 枚	昭和後期
693	伊勢湾台風くつ塚関係録 音資料	11 巻	昭和後期
697	国民精神総動員廻覧板	1 点	昭和前期
697	軍事扶助願	1 枚	昭和前期
697	焼損硬貨	18 点	昭和前期
697	軍事郵便	4 通	明治
697	軍事郵便絵葉書	1 括	昭和前期
697	領収証書	1 枚	昭和前期
697	学校配属将校軍服類	1 式	
697	物料用落下傘	1 点	昭和前期

697	ビタミン P 食箱	1 点	昭和前期
697	携帯国旗	1 点	昭和
697	方面委員関係資料	1 括	昭和
697	筒井聯区女子青年団襷	1 点	昭和前期
697	浅井武男氏出征抑留関係 資料	1 括	昭和前期～後期
697	中村定市氏戦死関係資料	1 点	昭和前期
697	加藤馨氏士官学校関係 資料	1 括	昭和前期
697	龕灯	1 点	昭和前期
698	昭和聖帝御大典画帖	1 点	昭和
712	〔台蒔き用鋤〕	1 点	昭和後期
713	除草機	1 点	昭和後期
718	木槌	1 点	大正～昭和
726	フォーク	2 点	昭和後期
731	釜	1 点	昭和後期
756	反物	1 点	昭和後期～平成
756	糸綜紬	5 組	明治～昭和
770	アルバム（タカラストア 開店風景）	1 点	昭和後期
776	伊勢湾台風物語缶バッジ	13 枚	平成
776	伊勢湾台風物語下敷き	6 枚	平成

(2) 購入資料一覧

分類	資 料 名	点数	時 代
507	豊臣家文書	1 括	桃山時代～江戸時代初期

基金動産からの移管資料

分類	資 料 名	点数	時 代
552	名陽旧覧図誌 巻一	1 冊	江戸時代後期写
552	高田山開帳参案内図会(折助咄後編)	1 冊	江戸時代後期写
571	寛文二年尾州名護屋図 附 津嶋図	2 枚	江戸時代前期

基金による購入資料は基金動産から市備品に移管したときに計上する。

6 指定・認定文化財一覧（館蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	秋草鶉図屏風	1 双	江戸時代
2	工芸	魚波文瓶子	1 口	鎌倉時代 瀬戸灰釉
3	書	三宝絵	1 帖	平安時代 源為憲撰 保安元年(1120) 書写奥書
4	工芸	太刀 銘「国泰」	1 口	鎌倉時代 肥後国延寿派国泰作
5	工芸	太刀 銘「行平作」	1 口	鎌倉時代 豊後国行平作
6	工芸	太刀 銘「雲生」	1 口	鎌倉時代 備前国宇甘派雲生作
7	工芸	黒楽茶碗「時雨」	1 口	江戸時代 本阿弥光悦作
8	書	豊臣家文書	1 括	桃山時代～江戸時代初期

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	袈裟襷文銅鐸	1 基	弥生時代 伝滋賀県出土
2	工芸	三角縁神獸鏡	1 面	古墳時代前期 奈良県都祁村白石光伝寺裏山古墳出土
3	書	広義門院所領处分状	1 幅	南北朝時代 貞和 5 年(1349)9 月 15 日付 光厳上皇筆
4	工芸	阿弥陀三尊懸仏	1 面	室町時代
5	絵	豊泉密竹図	1 幅	江戸時代後期 山本梅逸筆
6	書	千載和歌集断簡	1 幅	平安時代後期 日野切
7	考古	瓦製光背片	1 点	平安時代後期 三重県伊勢市小町経塚出土
8	工芸	太刀 銘「備前国住雲次」	1 口	鎌倉時代 備前国宇甘派雲次作
9	工芸	太刀 銘「景安」	1 口	鎌倉時代 備前国景安作
10	工芸	太刀 折返銘「吉綱」	1 口	鎌倉時代 備前国吉綱作
11	工芸	刀 無銘	1 口	鎌倉時代 伝包永
12	工芸	刀 無銘	1 口	南北朝時代 伝左
13	工芸	壺形土器 蓋有	2 点	弥生時代前期 名古屋市北区西志賀町遺跡出土
14	工芸	鳥形鈕蓋付高脚埴	1 口	古墳時代後期 伝名古屋市瑞穂区師長町出土
15	書	豊臣秀吉書状	1 幅	桃山時代 おとら宛

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	魚波文四耳壺	1 口	鎌倉時代後期 瀬戸灰釉 岐阜県出土
2	絵	四季花鳥図屏風	1 双	江戸時代後期 山本梅逸筆
3	考古	短甲	1 領	古墳時代後期 伝岡崎市出土 25 点付属
4	考古	三角縁神獸鏡・六神鏡	2 面	古墳時代前期 東海市兜山古墳出土
5	考古	壺	1 口	弥生時代中期 岩倉市大地遺跡出土
6	考古	壺	1 口	弥生時代前期 丹羽郡大口町西浦遺跡出土
7	絵	相応寺旧蔵襖絵	12 面	江戸時代初期
8	絵	築城図屏風	1 隻	安土桃山時代
9	絵	楽々園四季真景図巻	1 巻	江戸時代後期 宋紫岡筆
10	絵	山水図押絵貼屏風	1 双	江戸時代後期 中林竹洞筆
11	歴史	尾張藩領産物帳	20 冊	江戸時代中期
12	工芸	三尊来迎繡仏	1 幅	南北朝時代 弘浄寺伝来

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	有形民俗文化財	荒子西の畑屋敷馬道具	1 式	江戸時代後期～昭和前期
2	有形民俗文化財	荒子西屋敷馬標及馬道具	1 式	明治～昭和前期
3	歴史	横井也有関係資料	128 点	江戸時代
4	工芸	裁断橋擬宝珠	4 基	江戸時代前期
5	考古	大須二子山古墳出土品	16 点	古墳時代
6	有形民俗文化財	高橋家伝来医薬器具	一括	江戸時代中期～末期
7	絵	徳川宗春戯画賛	1 幅	江戸時代中期
8	絵	伊勢参宮図屏風	1 隻	江戸時代前期

7 指定・認定文化財一覧（受託資料）

【国宝】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	古事記	3 帖	南北朝時代 宝生院所蔵
2	書	漢書食貨志第四	1 巻	奈良時代 宝生院所蔵
3	書	瑠玉集	2 巻	奈良時代 宝生院所蔵

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	過去現在絵因果経	1 巻	平安時代 聖徳寺所蔵
2	書	七寺一切経 唐櫃	100 帖 1 合	平安時代 七寺所蔵
3	絵	騎馬武者像	1 幅	室町時代 地藏院所蔵
4	書	無住道暁筆文書	3 幅	鎌倉時代 六祖偈・置文・夢想記 長母寺所蔵
5	絵	四季山水図屏風	1 双	室町時代 真宗大谷派名古屋別院所蔵
6	書	樵隱悟逸墨蹟	1 幅	中国元時代 友山士思宛
7	書	寸松庵色紙	3 点	平安時代
8	考古	袈裟褌文銅鐸	1 基	弥生時代 福井県坂井市春江町井向出土
9	絵	千手観音二十八部衆像	1 幅	鎌倉時代 護国院所蔵
10	絵	聖宝像	1 幅	南北朝時代 林昌院所蔵
11	工芸	短刀 銘了戒	1 口	鎌倉時代 了戒作
12	絵	二河白道図	1 幅	鎌倉時代 蓮光寺所蔵
13	彫刻	地藏菩薩立像 像内納入品	一括	鎌倉時代 西光寺所蔵
14	彫刻	愛染明王坐像(像内に合子入愛染明王坐像を納める)	1 軀	鎌倉時代 甚目寺所蔵

【国認定重要美術品】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	細形銅剣	1 口	弥生時代 名古屋市守山区上志段味上島出土
2	工芸	七鈴鏡	1 面	古墳時代後期 名古屋市守山区羽根古墳出土
3	工芸	経塚関係資料	8 点	平安時代後期 大御堂寺所蔵
4	工芸	太刀 無銘 附拵	1 口	伝来国光
5	工芸	インス茶碗	1 口	江戸時代前期
(6)	工芸	(魚形土器)	(1 点)	弥生時代後期 名古屋市南区桜田貝塚出土 現名古屋市指定文化財

【愛知県指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	絵	織田又六画像	1 幅	安土桃山時代 善光寺別院願王寺所蔵
2	考古	壺	1 口	弥生時代 北名古屋市伝馬塚出土
3	絵	花鳥図	双幅	中国画 明眼院所蔵
4	絵	花鳥図	1 幅	中国画 明眼院所蔵
5	絵	風神雷神図	双幅	江戸時代 狩野常信筆 明眼院所蔵
6	絵	円窓山水図屏風	1 隻	江戸時代 明眼院所蔵
7	工芸	糸柶蒔絵茶箱	1 合	江戸時代 明眼院所蔵
8	工芸	茶壺	1 口	中国製 14～16 世紀 明眼院所蔵
9	工芸	金剛鈴杵	1 口	明眼院所蔵
10	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1 対	室町時代 伊勝八幡宮所蔵
11	絵	弁財天像	1 幅	鎌倉時代 乾坤院所蔵
12	絵	諸尊集会図	1 幅	鎌倉時代 乾坤院所蔵
13	書	正法眼蔵	15 冊	室町時代 乾坤院所蔵
14	絵	田中訥言画蹟	3 点	江戸時代後期 釈迦院所蔵 郭公の図他
15	書	『因明三十三過記』紙背文書	24 通	鎌倉時代 宝生院所蔵
16	絵	円光大師画像	1 幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
17	絵	遣迎二尊画像	1 幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
18	工芸	古萩茶碗	1 合	江戸時代 明眼院所蔵
19	彫刻	如来形立像	1 軀	奈良時代 祐福寺所蔵
20	書	石山切	1 幅	平安時代 貫之集下断簡
21	絵	渡辺崋山手録	3 冊	江戸時代後期 渡辺崋山筆

【名古屋市指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	工芸	梵鐘	1 口	江戸時代前期 水野太郎左衛門鑄造 性高院所蔵
2	絵	地藏菩薩画像	1 幅	南北朝時代 地藏寺所蔵
3	工芸	瀬戸鉄釉狛犬	1 個	室町時代 伊勝八幡宮所蔵
4	工芸	魚形土器	1 点	弥生時代後期 名古屋市南区桜田貝塚出土 旧国認定重要美術品

【他市町村指定文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	愛西市指定文化財	太刀 銘「從備前尾州来兼光…」	1 口	江戸時代 安政 3 年(1856) 鵜多須区所蔵
2	清須市指定文化財	泰亨車山車関係資料	140 点	清須市西枇杷島町東六軒町町内会所蔵
3	東郷町指定文化財	書留帳	3 冊	江戸時代 祐福寺所蔵
4	東郷町指定文化財	祐福寺縁起	2 卷	江戸時代 祐福寺所蔵
5	東郷町指定文化財	帝鑑の図	1 隻	江戸時代 祐福寺所蔵
6	東郷町指定文化財	雲版	1 口	室町時代 正長 2 年(1429) 祐福寺所蔵
7	清須市指定文化財	西枇杷島問屋町頼朝車関係資料	7 点	問屋町町内会所蔵
8	東郷町指定文化財	阿弥陀三尊来迎図	3 幅	南北朝時代 祐福寺所蔵 小三尊
9	東郷町指定文化財	当麻曼荼羅	1 幅	南北朝時代 祐福寺所蔵
10	東郷町指定文化財	不動明王像	1 幅	室町時代 祐福寺所蔵
11	大治町指定文化財	小堀遠州書状	1 幅	江戸時代 明眼院所蔵
12	大治町指定文化財	尾州海東郡馬嶋村薬師領御縄打帳 写	1 綴	江戸時代 慶長 13 年(1608)成立 明眼院所蔵

※館蔵・受託資料ともリニューアル改修に先立ち、別施設へ退避又は所蔵者に返還中の資料を含む。

IV 管理・運営

1 博物館の魅力向上

(1) 事業の目的、効果

当館は開館後 40 年以上経過し、施設の機能更新の時期を迎えていることから、こうした機会を捉え、時代に即した名古屋市博物館に生まれ変わり、市民や来訪者により親しまれる名古屋市博物館となるための魅力向上に取り組んでいるところである。本年度は「名古屋市博物館の魅力向上基本計画」に基づき設計業務や仮収蔵施設の建設等を行った。

(2) 事業の経過

令和元年度

- ・名古屋市博物館の魅力向上調査

令和2年度

- ・「名古屋市博物館の魅力向上に係る基本構想」策定

令和3年度

- ・「名古屋市博物館の魅力向上基本計画」策定

令和4年度

- ・展示・収蔵環境等の基本設計
- ・博物館リニューアル改修の基本設計
- ・仮収蔵施設の建設
- ・収蔵資料等の梱包・輸送

(3) 収蔵資料データベースの構築

収蔵資料に関する情報や画像を一元的に管理するとともに、館蔵品の目録情報と画像をインターネット上で公開するため、名古屋市博物館資料システムを構築した。

本システムは、資料に関する情報や画像を職員が管理するための管理システムと、インターネットを通して館蔵品の目録情報や画像を広く公開するための公開システムから構成される。

管理システムは館蔵品、寄託品、調査預り資料、調査記録、図書の5種類のデータベースから成る。公開システムは、上記5種類のデータベースのうち、館蔵品データベースから抽出した目録情報と

画像を、インターネットを通じてだれでも検索・閲覧できる。令和5年度中の公開を目指して目録情報と画像の点検を進めている。

併せて、当館が保有する資料写真のフィルム 36,912 件と、資料カード 51,180 件をスキャニングしてデジタル化し、本システムに登録した。

上記を含めて、令和4年度末時点で本システムに登録された資料は184,307件、画像ファイル等(資料カードを含む)は252,850件である。

また、ICT を介して博物館資料を活用するための調査を実施した。

2 みんなの博物館応援基金

当館において開催する事業の充実や設備・備品更新をすることで施設の魅力をアピールするため、市民の寄附を募った。

(1) 本年度の活用実績

座面電動昇降式車いす、調査研究用書籍、資料保存箱等の購入、公用車のリース

(2) みんなの博物館応援事業寄附金

本年度寄附実績

個人 10 名 204,500 円

団体 7 件 655,670 円

計 17 件 860,170 円

寄附者(公開に同意の方のみ、受付順、敬称略)

福島佐千男、佐久間洋一

分 館

I 名古屋市蓬左文庫

1 閲 覧

尾張徳川家の旧蔵書を中心に和漢の優れた古典籍、古地図、絵図などを所蔵する公開文庫として閲覧に供した。

閲覧日数 299 日
閲覧室総利用者数 1,551 人
閲覧冊数 13,642 冊
レファレンス 294 件

(窓口 181 件 電話 80 件 文書 33 件)

2 展 示

尾張徳川家の伝来品等により、近世武家文化の魅力を世界に向けて発信するため、徳川美術館と連携した展示を行った。

(1) 特別展

観覧料 一 般 1,400 円 高大生 700 円
小中生 500 円
徳川美術館との共通料金

ア 春季特別展「広重の旅風景 雨・雪そして人」

会 期 4 月 10 日～5 月 22 日
(開室日数 38 日)

会 場 蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、中日新聞社、日本経済新聞社

観覧者数 18,560 人
展示意図 風景画の名手歌川広重の代表作である保永堂版「東海道五拾三次之内」全 55 図に、各種東海道絵や各地の名所絵を加えて紹介した。卓越した脚色の技が活かされた広重の風景画を多く展示できた。

展示件数 148 件
印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

イ 秋季特別展「名物ー由緒正しき宝物ー」

会 期 9 月 17 日～11 月 6 日
(開室日数 44 日)

会 場 蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、中日新聞社、日本経済新聞社
観覧者数 32,645 人
展示意図 茶の湯道具や刀剣などのうち、名の知られた由緒ある優品は「名物」と呼ばれ貴ばれた。尾張徳川家の収蔵品を中心として、名だたる名物の数々を紹介した。

会 場 蓬左文庫展示室、徳川美術館本館
展示件数 128 件
印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

(2) 企画展

観覧料 一 般 400 円 (1,400 円)
(エ・オは 1,200 円)
高大生 300 円 (700 円)
小中生 200 円 (500 円)
() は徳川美術館との共通料金

ア「年中行事の今と昔」

会 期 4 月 1 日～4 月 3 日
(開室日数 3 日)
(全会期は、2 月 5 日～4 月 3 日)

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
観覧者数 1,640 人
展示意図 江戸時代の版本や絵画などを中心に、年中行事の変容をたどりながら紹介した。
展示件数 68 件
印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシA4 判

イ「大名の冠・婚・葬・祭」

会 期 5 月 28 日～7 月 18 日
(開室日数 45 日)
主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館
入場者数 18,894 人
展示意図 誕生や成長、成人、結婚、長寿を祝う行事や葬儀など、大名家の人々が人生の節目におこなった冠婚葬祭について尾張徳川家の伝来品を中心に紹介した。

展示件数 58 件

印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

ウ「祭りの世界―風流と仮装―」

会 期 7 月 24 日～9 月 11 日

(開室日数 44 日)

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館

観覧者数 16,041 人

展示意図 祭りは宗教的行事でもあり、人々が心躍らせる娯楽でもあった。江戸時代の祭礼図を中心に、見た目にも美しく楽しい仮装や出し物に着目し、その豊潤な世界を紹介した。

展示件数 32 件

印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

エ「鷹狩」

会 期 11 月 12 日～12 月 15 日

(開室日数 29 日)

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館

観覧者数 17,947 人

展示意図 飼い馴らした鷹を使って獲物を捕らえる鷹狩は、日本では古代から行われていた。鷹狩道具をはじめ、狩りに関わる人々や場にも焦点を当てつつ、鷹狩の世界を紐解いて紹介した。

展示件数 49 件

印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

オ「徳川文房博」

会 期 令和 5 年 1 月 4 日～1 月 29 日

(開室日数 23 日)

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館、毎日新聞社

観覧者数 9,018 人

展示意図 尾張徳川家に伝来した文房具を一堂会し、文房（書斎）で用いられた様々な道具と、大名文化における文房具の役割について紹介した。

展示件数 134 件

印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

カ「読み解き 近世の書状」

会 期 令和 5 年 2 月 4 日～4 月 2 日

(開室日数 48 日 3 月 31 日まで)

主 催 名古屋市蓬左文庫、徳川美術館

観覧者数 35,586 人 (3 月 31 日まで)

展示意図 信長・秀吉・家康をはじめとする近世の人びとの書状を展示し、書状からうかがえるエピソードや書き手の人柄などを紹介した。

展示件数 48 件

印刷物 ポスターB2・B3 判、チラシ A4 判

3 教育普及

(1) 講演会

10 月 27 日「蓬左文庫の六国史」

講 師 吉田一彦氏

(名古屋市立大学特任教授)

60 人

会 場 徳川園ガーデンホール

(2) 講座（東生涯学習センターとの共催）

2 月 15 日「近世武家文化 蓬左文庫を訪ねて」

講 師 星子桃子 (名古屋市蓬左文庫学芸員)

20 人

会 場 蓬左文庫講座室

(3) 特別展記念講演会

4 月 10 日「広重の名所絵のつくられかた」

講 師 大久保純一氏

(国際浮世絵学会理事長)

50 人

会 場 徳川美術館講堂

(4) 特別展特別講座

10 月 1 日「問い直す名物刀剣のイメージ」

講 師 酒井元樹氏

(東京国立博物館主任研究員)

60 人

会 場 徳川美術館講堂

(5) 蓬左文庫古書市

10 月 29 日～11 月 6 日

1,176 人

会 場 蓬左文庫旧書庫

(講座室・エントランスホール)

主 催 名古屋市蓬左文庫
協 力 名古屋古書籍商業協同組合

(6) 連携事業

「歩こう文化のみち」実行委員会との連携

11月3日～27日

クイズラリー他 414人
(事務局：東区役所)

(7) 団体見学等

大学生等の団体を受け入れ、解説を行った。

名城大学、中京大学、愛知県立大学、金城学院大学、鯉城学園高年大学、瑞陵高校、御幸山中学校、椋山女学園中学校、名古屋中学校、徳川林政史研究所はじめ 11件 110人

4 調査研究

(1) 名古屋叢書四編『青窓紀聞 巻10～巻14』の発行

尾張名古屋の歴史資料を活字化し、市民の調査研究を支援するため、昭和34(1959)年から刊行を始めた『名古屋叢書』の四編として、第三冊目『青窓紀聞 巻10～巻14』を発行した。

(2) デジタル版名古屋叢書続編『鸚鵡籠中記』の発行

昭和40年から44年に、名古屋叢書続編(第9巻～第12巻)として刊行された「鸚鵡籠中記全4冊本のデータをデジタル化し発行した。

(3) 「蓬左」の発行

蓬左文庫の蔵書を市民にわかりやすく紹介するため、広報誌「蓬左」を発行した。

「蓬左」No. 103

- ・『青窓紀聞』で読む水野正信の〈声〉
- ・企画展「祭りの世界－風流と仮装－」
- ・秋季特別展「名物－由緒正しき宝物－」
- ・尾張の筆まめ日記伝(第三回)
- ・相応院消息

「蓬左」No. 104

- ・令和4年度蓬左文庫講演会
「蓬左文庫の六国史」
- ・尾張の筆まめ日記伝(第四回)
- ・銅人腧穴鍼灸図経
(どうじんしゅけつしんきゅうずけい)

(4) 共同研究活動

蓬左文庫資料にかかる学芸員との共同研究

- ・蓬左文庫典籍研究会
(愛知大学研究者はじめ)
- ・伊藤満作家家資料調査チーム
(名城大学研究者はじめ)
- ・「銅人腧穴鍼灸図経」調査チーム
(立命館大学研究者はじめ)

5 出版物

「蓬左」No. 103 A4判 8頁 2,500部(無料)

「蓬左」No. 104 A4判 8頁 2,500部(無料)

「年間行事予定」A4判 6,000枚(無料)

6 特別利用

原板使用(掲載)	126件 319点
原板使用(その他)	44件 97点
熟覧	26件 61点
撮影	2件 3点
合計	198件 480点

7 複写

330件(32,866枚)

8 資料点数

資料総点数 (内訳)	121,794点
・旧蓬左文庫資料	64,845点
・江戸時代から名古屋市移管(昭和25年)までに収集された尾張徳川家旧蔵書	
・名古屋市蓬左文庫収集資料 名古屋市移管以降の収集資料	56,613点
・令和4年度受贈資料	
名字帯刀指免之書状	1件1点
古文尚書	1件7点
・名古屋市蓬左文庫受託資料	328点

9 資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名・会期）	おもな貸出資料
4月1日-6月30日	名古屋城 西の丸御蔵 城宝館	風薫る 殿の御庭 4月23日-6月12日	御城御庭絵図 はじめ 13件13点
4月14日-6月24日	刈谷市歴史博物館	伊勢物語とかきつばた 4月23日-6月5日	伊勢物語 定家本 はじめ 7件24点
7月19日-9月15日	徳川美術館	お宝のうら！なか！そこ！ 7月24日-9月11日	銅人舘穴鍼灸図経 はじめ 2件3点
8月1日-11月30日	栃木県立博物館	鑑真和上と下野薬師寺～天下三戒壇でつながる信仰の場～ 9月17日-10月30日	続日本紀 はじめ 1件5点
9月8日-12月9日	斎宮歴史博物館	NARIHIRA-いにしへの雅び男ものがたり- 10月1日-11月20日	本朝皇胤紹運録 はじめ 4件5点
10月6日-12月1日	大谷大学博物館	仏法東帰ー大仏開眼へのみちー 10月11日-11月28日	続日本紀 はじめ 1件2点
10月1日-12月27日	浜松市博物館	三方ヶ原の戦いと家康伝承 10月22日-12月4日	元龜三年 三方原合戦図 はじめ 4件14点
10月19日-12月13日	犬山城白帝文庫	城主のお道具ー由緒と伝来ー 10月26日-12月6日	源氏物語 青表紙本 附二 八額紋八重梅鉢唐草蒔絵 書物筆筭 はじめ 1件1点
11月1日-3月31日	名古屋城 西の丸御蔵 城宝館	本丸御殿に秘められた意味ー将軍たるもの、清貧であれ、人格者たれー 11月19日-12月18日	帝鑑図説 はじめ 2件13点
11月1日-3月31日	名古屋城 西の丸御蔵 城宝館	家康とごはん 名古屋城でいただきます 令和5年1月1日-3月5日	進饌要覧 はじめ 7件7点
12月14日-3月15日	熱田神宮宝物館	美術品で初詣 ～熱田で諸社へも初詣 令和5年1月1日-1月24日	熱田祭奠年中行事図会 はじめ 8件35点
計	貸出先件数 11件		貸出資料件点数 50件122点

10 指定文化財一覧（所蔵資料）

【国指定重要文化財】

	種別	資料名	数量	時代など
1	書	続日本紀	30巻 付 10 巻	鎌倉時代 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
2	書	侍中群要	10巻	鎌倉時代 嘉元4年（1306）北条貞顕筆 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
3	書	斉民要術	22 巻	鎌倉時代 文永11年（1274）北条実時奥書 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
4	書	源氏物語（河内本） 付 近衛信尹筆者極 古筆了佐筆者目録	23冊 付 2 巻	鎌倉時代 正嘉2年（1258）奥書 金沢文庫旧蔵
5	書	論語集解	10 冊	鎌倉時代 元応 2 年（1320）奥書
6	書	宋版太平聖恵方	24冊 付 29 冊	中国宋時代（13世紀）刊 金沢文庫旧蔵 駿河御譲本
7	書	朝鮮版高麗史節要（銅活字本）	35 冊	李氏朝鮮 景泰 4 年（1453）刊

【登録有形文化財(建造物)】

蓬左文庫旧書庫

平成 26 年(2014)、黒門・脇長屋など、徳川園内の建造物とともに登録有形文化財(建造物)に登録された。旧書庫は、明治 33 年(1900)に建築された旧尾張徳川家大曾根邸の土蔵を、昭和 10 年(1935)に移転改築したもので、現在は蓬左文庫エントランスとして使用している。

【ユネスコ世界記憶遺産（世界の記憶）】

朝鮮通信使に関する記録

平成 29 年(2017) 10 月、日韓合計 111 件 333 点(日本 48 件 209 点、韓国 63 件 124 点)の「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの「世界記憶遺産（世界の記憶）」に登録された。この中には蓬左文庫が所蔵する下記資料が含まれている。

朝鮮国三使口占聯句	1 枚	江戸時代・天和 2 年(1682)
甲申韓人来聘記事	1 冊	江戸時代・明和元年(1764)
朝鮮人御饗応七五三膳部之図	1 冊	江戸時代・文化 8 年(1811)
朝鮮人物旗仗輜輿之図	1 巻	江戸時代・19 世紀

Ⅱ 名古屋市秀吉清正記念館

1 展 示

(1) 常設展

豊臣秀吉・加藤清正に焦点を当て、あわせて彼らが生きた時代を概説している。館蔵資料を中心とし、今年度は6回の展示替えを行った。

例年は映像機器も併用しているが、今年度も感染症拡大防止対策のため、令和5年3月11日まで休止した。

開室日数 292日

観 覧 料 無料

観覧者数 24,926人

(2) 特別陳列 「加藤清正—戦国武将の信仰と祈り—」

会 期 10月8日～11月23日 (開室日数38日)

観 覧 料 無料

観覧者数 4,415人

展示意図 加藤清正は日蓮宗の熱心な信者であり、多くの寺院の建立や再建を行った。本展覧会では、清正と清正の日蓮宗への帰依や江戸時代に隆盛した清正公信仰の広がりを紹介した。

展示件数 30件

印 刷 物 ポスターA2判、チラシA4判

(3) 特集展示、パネル展

特別展示室の活用を図るとともに常設展示を補完するため、以下の展示を行った。観覧料無料。

ア 秀吉清正記念館30周年パネル展

「中村公園いまむかし」

会 期 3月5日～5月29日 (開室日数72日)

観覧者数 4,273人 (4月1日から5月9日まで)
6,146人 (通期)

展示意図 中村公園は、明治36年(1903)、豊臣秀吉の生誕地を顕彰する目的で開園した。開園当時から現在に至るまで120年間の変遷を絵はがきや写真で紹介した。

イ パネル展「名古屋の城」

会 期 6月11日～7月3日 (開室日数19日)

観覧者数 1,575人

展示意図 名古屋市内の城郭遺構の中から、遺構が残るところ、歴史上重要なところ、公園として整備されたところを中心に紹介した。

ウ 夏休み特集展示「豊臣秀吉 人気の秘密をさぐる」

会 期 7月16日～9月19日 (開室日数55日)

観覧者数 4,703人

展示意図 夏休みの小中学生向け展示。秀吉がどのようにして強い武将として力を発揮したのか、秀吉の人気の秘密を紹介した。

エ 特集展示「秀吉と清正の面影—描かれた姿をさぐる—」

会 期 12月10日～令和5年2月19日 (開室日数55日)

観覧者数 4,792人

展示意図 秀吉と清正の描かれた肖像画を多数集め、顔貌の表現や特徴を紹介した。

オ 特集展示「地図を楽しむ」

会 期 令和5年3月4日～5月28日 (開室日数72日)

観覧者数 2,065人 (3月31日まで)

展示意図 地図の作成された時期の地理感覚、などをさぐり、地図の作成された時代背景や楽しみ方を紹介した。

2 教育普及等

(1) 夏休み事業

「夏休み自由研究 戦国武将にクイズで挑戦」

常設展、特集展示を観覧しながら、戦国時代の歴史に親しめるよう、小中学生を対象にクイズラリーを行った。

7月20日～8月31日

605人

(2) 太閤秀吉功路 謎解きウォークラリー

中村区役所との連携事業。太閤秀吉功路で謎解きゲームを行い、歴史散策の機会を提供した。

2月27日～5月31日 380人

10月24日～12月23日 661人

(3) 第21回太閤花見茶会「お花見茶会大作戦」

中村公園で開催の太閤花見茶会での子ども向けの太閤秀吉功路のブースで実施したウォークラリー。

4月3日 94人

3 特別利用

利用件数 49件

利用資料数
 原板使用（掲載） 71件 71点
 原板使用（その他） 0件 0点
 熟覧 0件 0点

4 資料の貸出

貸出期間	貸出先（会場）	貸出目的（展覧会名）・会期	貸出資料
6月15日 ～9月30日	東京都港区立郷土歴史館	「“Life with ネコ”展」 7月16日～9月11日	虎の顎骨
8月20日 ～11月30日	佐賀県立名護屋城博物館	「肥前名護屋城、煌めく一豊臣秀吉と桃山文化」 9月16日～11月6日	茶地動植物人物文様 刺繍ビロード陣羽織
10月1日 ～12月27日	静岡県浜松市博物館	「三方ヶ原の戦いと家康伝承」 10月22日～12月4日	色々威二枚胴具足

5 資料収集一覧

分類	資料名	数量	時代
絵画	加藤清正 伏見ノ地震秀吉ノ謁ヲ聴サル	1点	明治24年6月16日
絵画	矢矧橋夜半落雁	1枚	江戸時代後期
絵画	高松城水責之図	1枚	江戸時代後期
絵画	太平記英勇伝 藤原正清	1枚	江戸時代後期
絵画	武智光年大多春忠の居城をせめる図	1枚	江戸時代後期
絵画	藤原政清二十将図	1枚	江戸時代後期
絵画	太平記大合戦	1枚	江戸時代後期
絵画	太平記之内 藤原正清、異国に渡海	1枚	江戸時代後期
絵画	豊臣秀吉画像	1枚	明治30年
絵画	加藤清正画像	1枚	近代
文書典籍	豊臣昇進録	1冊	江戸時代後期

文 書 典 籍	武辺咄聞書	3冊	嘉永3年12月
文 書 典 籍	絵本太閤記 初編	12冊	寛政9年8月
文 書 典 籍	絵本太閤記 第六編	12冊	享和元年3月
文 書 典 籍	絵本太閤記 第七編	12冊	享和2年3月
文 書 典 籍	史籍集覧 大和軍記 和田系図裏書関 岡家始末 名古屋合戦記 清須合戦記	1冊	明治17年4月
文 書 典 籍	国民教育 忠勇唱歌 豊太閤	1冊	明治34年7月
文 書 典 籍	大阪城之旧図 冬陣東西両軍配備概況 記入	1枚	大正15年3月
文 書 典 籍	扶桑新聞付録 豊太閤肖像	1枚	明治29年1月1日
文 書 典 籍	幼年倶楽部 第十一巻第五号 五月号 附録 豊臣秀吉出世絵物語	1冊	昭和11年5月
そ の 他	祝鯉	1点	平成
そ の 他	守札	1点	平成
そ の 他	勝守	2点	平成
そ の 他	守札	2点	平成
そ の 他	守札	1点	平成
そ の 他	勝守	1点	平成
そ の 他	「セウガク一年生」第十一巻第十三号正 月号 附録 漫画日吉丸出世双六	1枚	昭和11年1月
そ の 他	太閤出世双六	1枚	昭和
そ の 他	子どもが良くなる講談社の絵本 加藤 清正	1冊	昭和12年8月
そ の 他	子どもが良くなる講談社の絵豊臣秀吉 羽柴筑前守の巻	2冊	昭和13年7月

6 資料収集状況

総 合 計 （令和5.3.31現在）						
	受 贈		購 入		計	
	件	点	件	点	件	点
絵画	43	51	79	120	122	171
工芸	26	26	24	26	50	52
文書典籍	108	341	67	254	175	595
その他	24	40	3	3	27	43
計	201	458	173	403	374	861

7 指定文化財一覧（館蔵資料）

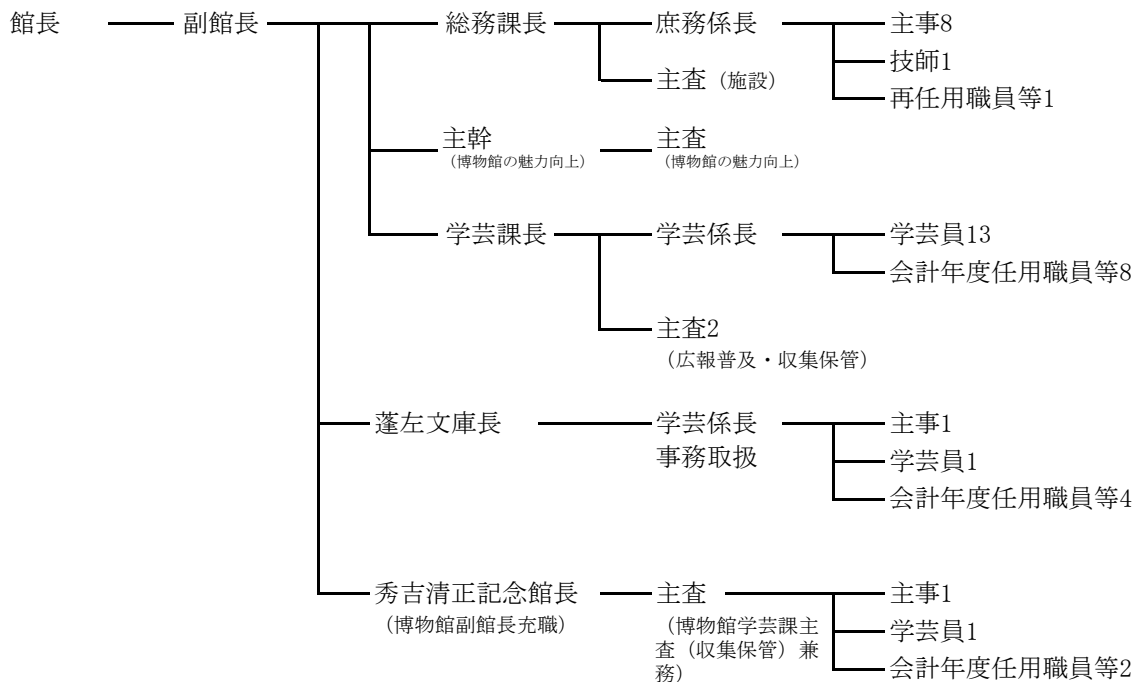
【名古屋市指定文化財】

	種別	資 料 名	数 量	時 代 な ど
1	歴史	兼松家資料	40点	室町時代後期～江戸時代中期
2	歴史	近江木下家資料	39点	安土時代～江戸時代後期

機 構

○組織

(令和5年3月31日現在)



○博物館職員

館 長	三 芳 研二	学芸員	塚原 明子
副館長	木村 広聖		加藤 和俊
総務課長	根木 剛		岡村 弘子
主幹(博物館の魅力向上)	竹川 修		津田 卓子
庶務係長	川口 義宏		木村 慎平
主査(施設)	島田 嶺		佐野 尚子
主査(博物館の魅力向上)	小林 弓子		横尾 拓真
主 事	吉田 千秋		鈴木 雅
	新家 論子		羽柴 亜弥
	金岡 友香		西澤 光希
	戸田 真梨子		天野 卓哉
	島山 将來		富田 航生
	森下 暢之		藤原 吉希
	飯田 聡	臨時的任用職員	中村 文香
	山本 麻由	再任用職員	坂野 利光
技 師	井藤 貴康	会計年度任用職員	白山 由華子
再任用	伊神 敏弘		亀井 久美子
会計年度任用職員	宮下 海帆 (R4. 8. 31退職)		加藤 千沙
学芸課長	瀬川 貴文		鵜尾 三四郎
学芸係長	武藤 真		児玉 実可子
主査(広報普及)	森 幸江		坪倉 ひとみ (R4. 10. 1～)
主査(収集保管)	山田 伸彦		

○蓬左文庫職員

文庫長	橘	弘子
学芸係長事務取扱	橘	弘子
主 事	中川	めぐみ
学芸員	星子	桃子
再任用職員	酒井	喜代枝
	坂東	彰
	安田	万希子
会計年度職員	井上	善博

○秀吉清正記念館職員

館長（博物館副館長充職）	木村	広聖
主査（博物館学芸課主査（収集保管）兼務）	山田	伸彦
主 事	近藤	良江
学芸員	小西	恒典
再任用職員	福井	雅浩
会計年度職員	粕谷	亜矢子

○名古屋市博物館協議会委員（◎会長、●副会長）

順不同

名古屋市立平田小学校長	吉田	七重
●学校法人金城学院理事	長屋	頼子
名古屋市地域女性団体連絡協議会副会長	杉本	久美子
徳川美術館長	徳川	義崇
熱田神宮宝物館長	多賀	顕
名古屋市立小中学校PTA協議会理事	野々垣	久美子
公募委員	安河内	昭彦
日本放送協会名古屋拠点放送局長	伯野	卓彦
中日新聞社名古屋本社事業局次長	古田	真一
愛知教育大学学長補佐	真島	聖子
名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	小山	真人
◎愛知県立大学教授	丸山	裕美子
東朋テクノロジー(株)取締役社長	富田	英之
名古屋市博物館資料委員	塩村	耕
名古屋市障害者団体連絡会会長	橋井	正喜

○名古屋市博物館資料委員 順不同

考 古	名古屋大学文学部・大学院人文学研究科教授	山本	直人
	愛知淑徳大学非常勤講師	赤羽	一郎
美術工芸	立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員	源城	政好
	桑名市博物館歴史専門官	大塚	由良美
	掛川市ステンドグラス美術館長	日比野	秀男
	愛知県銃砲刀剣類登録審査委員	青山	篤志

文書・典籍

名古屋大学名誉教授	羽賀	祥二
名古屋大学文学部・大学院人文学研究科教授	塩村	耕

民 俗

愛知県立旭丘高等学校教諭	服部	誠
愛知教育大学理事・副学長・附属図書館長	野地	恒有

○秀吉文書集編集委員（◎委員長、●副委員長）

順不同

◎名古屋大学名誉教授	三鬼	清一郎
●石川県立歴史博物館長	藤井	譲治
大阪城天守閣学芸主幹	跡部	信
椋山女学園大学名誉教授	加藤	益幹
九州大学比較社会文化研究院教授	中野	等
中京大学文学部教授	播磨	良紀
三重大学教育学部教授	藤田	達生
前京都橘大学非常勤講師	藤田	恒春
東京大学史料編纂所教授	山口	和夫

名古屋市博物館協議会開催状況

日 時	場 所	議 題
第89回定例会 1月13日	名古屋市博物館 展示説明室	・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算について ・令和4年度事業中間報告について ・博物館の魅力向上について
第90回定例会 3月17日	名古屋市博物館 展示説明室	・令和4年度事業中間報告について ・令和5年度事業計画（案）について ・令和5年度予算について ・博物館の魅力向上について ・名古屋市博物館条例の一部改正について

予 算

○名古屋市博物館（本館）

（単位：千円）

展観事業費	普及費	資料費	管理費	職員費	博物館リニューアル改修の 設計等
常設展 運営費 7,756	教育 普及 費 2,530	調査研究 費 1,223	事務・ 施設管 理費 142,085	職員費 20,842	博物館 リニューアル改修 の設計等 89,575
企画展等 4,288	その他 190	豊臣家文 書の購入 330,000			
共催展費 75,474		資料収集 データ ベースの 構築 66,794			
		文化財修 復・保存 3,150			
		その他 3,110			
87,518	2,720	404,277	142,085	20,842	89,575
計					747,017

○分 館

蓬左文庫			秀吉清正記念館		
展観事業費	管理費	職員費	展観事業費	管理費	職員費
62, 111	36, 980	15, 525	1, 349	4, 806	7, 513
		計 114, 616			計 13, 668
					総 計 (本館・分館総合計)
					875, 301

名古屋市博物館利用状況

1 特別展

(単位:人)

	有 料											無 料														計
	個 人				団 体			身体障害者手帳等				個 人					身体障害者手帳等				招待券等	団 体				
	一 般	高 齡 者	高 大 生	小 中 生	一 般	高 齡 者	高 大 生	小 中 生	一 般	高 大 生	小 中 生	一 般	高 齡 者	高 大 生	小 中 生	乳 幼 児	一 般	高 大 生	小 中 生	介 護 者		一 般	高 大 生	小 中 生		
I	9,064		602	1,132					882	18	55	14		422								3,267				15,456
II	14,811		894	1,842	20			20	1,125	28	83	63		1,094								3,596				23,576
III	67,372		2,173	4,684	170		64	209	4,869	81	155	110		1,583								8,589				90,059
IV	2,260		125		4		124					33		119	308		204	6	2	97	937	4		108	4,331	
計	93,507		3,794	7,658	194		188	229	6,876	127	293	220		3,218	308		204	6	2	97	16,389	4		108	133,422	
I´	13,687		1,154	1,878					1,384	38	93	22		626								4,266				23,148

		開始	終期	日数
I	特別展 DC展	4/1	5/8	33
II	特別展 もしも猫展	7/2	8/21	44
III	特別展 兵馬俑と古代中国	9/10	11/6	49
IV	企画展 戦前を生きる	1/21	3/5	36
I´	特別展 DC展(会期通算)※参考	3/8	5/8	54

2 常設展

(単位:人)

月	有 料						無 料											団体 件数	計
	個 人			団 体			個 人			身体障害者手帳等 タ ー サ ポ ー 制 度			招待 券等	団 体					
	一 般	高 齢 者	高 大 生	一 般	高 齢 者	高 大 生	一 般	高 大 生	小 中 生	一 般	高 大 生	介 護 者		一 般	高 大 生	小 中 生			
4	1,377	73	61	0	0	0	121	106	530	40	0	25	13	425	0	0	0	0	2,771
5	1,220	98	66	0	0	0	88	196	303	50	1	30	4	342	3	0	69	2	2,470
6	480	111	42	0	0	0	33	124	122	55	0	34	8	12	1	0	34	2	1,056
7	1,820	93	108	6	0	42	117	203	527	46	1	51	4	300	1	0	44	3	3,363
8	2,297	100	260	0	0	0	135	158	1,175	56	2	55	1	492	0	6	6	1	4,743
9	6,401	54	248	0	0	0	405	172	795	106	2	55	5	344	0	0	5	0	8,592
10	11,190	62	307	63	0	0	1,853	266	1,182	40	0	27	4	1,113	2	0	45	2	16,154
11	3,941	119	173	0	0	0	238	320	676	64	1	50	3	440	1	0	50	1	6,076
12	290	73	21	0	0	0	14	132	84	33	0	23	2	6	0	0	35	2	713
1	1,017	136	54	0	0	0	68	166	636	80	1	50	6	70	296	0	5,215	65	7,795
2	934	169	187	0	0	0	38	41	380	88	0	46	12	182	357	0	6,195	89	8,629
3	762	188	75	0	0	0	25	66	283	75	3	52	13	141	155	0	2,515	23	4,353
計	31,729	1,276	1,602	69	0	42	3,135	1,950	6,693	733	11	498	75	3,867	816	6	14,213	190	66,715

3 月別入場者数

(1) 名古屋市博物館

(単位:人)

月	開館 日数	常設展	ビデオ コーナー	触れてみる コーナー	収蔵 品展	特別展 企画展 等	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	体験 学習室	ナイト ミュージアム	歴史体験 セミナー	計	累 計
4	25	2,771	113	624	0	0	9,066	2,592	114	117	0	0	0	15,397	15,397
5	26	2,470	157	720	0	0	6,390	8,243	120	34	0	0	0	18,134	33,531
6	25	1,056	114	374	0	0	0	5,865	173	80	0	0	0	7,662	41,193
7	26	3,363	232	876	0	0	11,624	4,309	88	166	0	0	1,347	22,005	63,198
8	26	4,743	237	1,299	0	0	11,952	5,752	224	59	0	0	2,698	26,964	90,162
9	26	8,592	399	2,356	0	0	23,352	6,039	246	172	0	0	0	41,156	131,318
10	25	16,154	575	3,374	0	0	49,019	12,151	333	252	0	0	0	81,858	213,176
11	25	6,076	483	1,838	0	0	17,688	39,817	354	0	0	0	49	66,305	279,481
12	16	713	86	251	0	0	0	6,759	0	0	0	0	301	8,110	287,591
1	23	7,795	168	843	0	1,043	0	484	440	49	394	0	952	12,168	299,759
2	23	8,629	148	610	0	2,368	0	3,578	82	137	1,162	0	0	16,714	316,473
3	26	4,353	148	589	0	920	0	8,678	393	111	258	0	0	15,450	331,923
計	292	66,715	2,860	13,754	0	4,331	129,091	104,267	2,567	1,177	1,814	0	5,347	331,923	

※館内点検休館 11月22日～29日

(2) 蓬左文庫

(単位:人)

月	展示室 開室日数 (日)	有料区域分		展示室総入 館者数 (a)	閲覧室 開室日数 (日)	無料区域部分		エントランス 総入館者数 (b)	計 (a+b)	累 計
		展 示 室				閲覧室	エントランス ホールのみ			
		共通券	単独券							
4	21	7,721	3	7,724	26	123	1,413	1,536	9,260	9,260
5	23	14,012	2	14,014	27	126	2,345	2,471	16,485	25,745
6	26	9,750	15	9,765	26	119	1,705	1,824	11,589	37,334
7	23	9,922	11	9,933	27	107	1,196	1,303	11,236	48,570
8	27	10,268	11	10,279	27	161	1,331	1,492	11,771	60,341
9	22	11,297	9	11,306	26	99	1,344	1,443	12,749	73,090
10	26	19,679	0	19,679	26	135	1,909	2,044	21,723	94,813
11	22	16,744	5	16,749	26	160	2,313	2,473	19,222	114,035
12	13	6,272	6	6,278	13	69	775	844	7,122	121,157
1	23	8,995	23	9,018	24	129	1,350	1,479	10,497	131,654
2	21	13,888	28	13,916	24	159	1,385	1,544	15,460	147,114
3	27	21,649	21	21,670	27	164	2,023	2,187	23,857	170,971
計	274	150,197	134	150,331	299	1,551	19,089	20,640	170,971	

※特別整理休館 12月13日～28日

(3) 秀古清正記念館

(単位:人)

月	開館日数(日)	入場者数	累 計	備 考
4	25	2,227	2,227	
5	25	2,107	4,334	
6	25	2,048	6,382	
7	26	2,180	8,562	
8	25	2,295	10,857	
9	25	1,526	12,383	
10	25	4,856	17,239	特別陳列-19日(入場者2,192人)
11	19	4,446	21,685	特別陳列-19日(入場者2,223人)
12	15	1,236	22,921	
1	23	2,084	25,005	
2	23	2,051	27,056	
3	26	2,285	29,341	
計	282	29,341		

※館内点検休館 11月24日～12月9日

4 ギャラリー・講堂利用日数

(単位:日)

室名／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ギャラリー	1	10	18	17	19	6	18	16	25	10	0	13	26	178
	2	6	5	10	0	18	0	0	25	16	0	15	6	101
	3	10	12	10	6	18	0	0	25	16	0	15	18	130
	4	0	17	12	19	18	14	20	25	16	5	9	21	176
	5	0	17	18	19	17	14	25	25	16	5	9	21	186
	6	6	11	18	8	5	11	16	25	16	5	9	21	151
	7	0	16	16	0	0	3	13	25	4	0	0	0	77
	8	18	17	12	9	17	5	23	25	10	5	15	15	171
	屋外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講堂		2	2	2	2	2.5	3	2.5	4.5	1.5	3.5	1.5	3.5	30.5
開室日数		22	24	18	19	23	21	25	25	16	5	15	26	239

5 年度別入場者数

(単位:人)

年度 (昭和)	常設展	資 料 学習室	ふれてみる 学習室	部門展	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂					計	累計
52				184,694	17,099	203,569	48,302	4,195					457,859	
53	85,044			34,077	17,642	103,848	332,031	10,881					583,523	1,041,382
54	104,009			40,013	10,514	184,316	307,735	22,609					669,196	1,710,578
55	130,562	38,702		28,301	8,788	177,337	276,578	25,782					686,050	2,396,628
56	73,655	29,284	6,748	14,237	9,106	66,104	273,704	25,421					498,259	2,894,887
57	105,109	47,214	45,188	21,677	9,806	132,369	281,767	22,247					665,377	3,560,264
58	94,941	36,437	35,079	32,026	9,063	121,480	297,097	22,021					648,144	4,208,408
59	86,112	25,419	23,778	16,515	11,986	96,428	394,204	21,852					676,294	4,884,702
60	85,781	41,651	41,935	25,873	9,968	117,928	649,486	22,278					994,900	5,879,602
61	93,251	37,345	38,390	22,224	19,079	149,416	489,186	21,802					870,693	6,750,295
62	101,447	36,485	36,683	16,823	4,597	182,725	388,101	22,372					789,233	7,539,528
63	17,421	16,919	19,322	22,639	8,736	39,544	336,466	20,443					481,490	8,021,018
年度 (平成)	常設展	ビデオ ミュージアム	ふれてみる 学習室	収蔵品展等	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	体験 学習室	ナイト ミュージア ム	歴史体験 セミナー	計	累計
元	82,336	24,774	22,128	7,687	17,657	161,125	359,028	20,162					694,897	8,715,915
2	69,993	24,795	16,218	4,587	16,561	86,570	340,936	19,230					578,890	9,294,805
3	84,465	31,351	20,711	7,883	40,027	168,556	362,912	23,684					739,589	10,034,394
4	60,601	29,091	19,500	7,399	21,249	86,728	322,388	20,745					567,701	10,602,095
5	72,949	28,573	19,460	10,366	20,165	102,159	363,434	22,956					640,062	11,242,157
6	145,272	46,024	32,257	7,595	22,635	349,128	380,446	25,455					1,008,812	12,250,969
7	83,387	31,717	18,968	0	47,829	160,360	346,948	25,544					714,753	12,965,722
8	95,118	30,912	19,504	11,014	20,539	178,565	416,896	17,552					790,100	13,755,822
9	122,665	36,084	20,061	9,045	16,027	298,052	404,502	24,897					931,333	14,687,155
10	70,970	23,553	11,393	5,433	21,127	164,503	337,974	20,380					655,333	15,342,488
11	52,972	19,836	11,612	5,520	24,470	74,815	315,838	18,734					523,797	15,866,285
12	150,760	32,849	23,405	9,365	18,827	308,229	324,538	18,651					886,624	16,752,909
13	66,376	17,491	8,581	13,592	9,260	134,976	309,714	16,267					576,257	17,329,166
14	56,137	15,185	7,038	32,608	14,874	74,848	283,883	17,713					502,286	17,831,452
15	56,609	12,661	5,928	35,332	16,539	58,023	281,581	12,185					478,858	18,310,310
16	61,536	13,478	11,680	3,883	15,104	119,227	213,778	9,509					448,195	18,758,505
17	82,856	14,285	15,083	5,703	43,756	159,078	239,336	8,484					568,581	19,327,086
18	40,746	11,631	11,526	5,309	38,370	39,189	209,861	6,639					363,271	19,690,357
19	98,783	10,475	13,083	0	11,871	153,825	244,570	5,869					538,476	20,228,833
20	68,419	9,397	11,943	16,403	9,362	87,638	235,367	6,132	3,492				448,153	20,676,986
21	90,214	8,432	12,978	0	16,515	124,384	221,495	8,162	1,233				483,413	21,160,399
22	70,825	6,774	7,983	49,367	7,361	141,400	220,437	7,990	1,289				513,426	21,673,825
23	68,383	4,318	7,669	0	0	111,551	177,111	6,481	2,620	22,251			400,384	22,074,209
24	63,990	6,358	7,099	0	9,640	288,131	167,310	11,222	2,384	21,536	1,786	9,558	589,014	22,663,223
25	68,916	8,596	13,504	0	2,970	132,235	187,082	8,543	2,447	17,953	1,700	12,156	456,102	23,119,325
26	65,515	5,749	14,329	0	3,818	130,075	164,412	5,920	6,229	22,835	943	6,693	426,518	23,545,843
27	69,076	3,207	14,428	4,576	19,025	123,741	158,886	7,511	2,049	22,251	1,256	11,544	437,550	23,983,393
28	70,294	6,905	14,742	0	8,142	139,512	170,943	7,841	6,639	22,455	1,372	6,405	455,250	24,438,643
29	81,784	4,202	13,150	0	0	238,137	170,290	6,230	2,550	23,184	561	7,887	547,975	24,986,618
30	58,372	3,192	10,166	0	4,752	105,671	162,903	6,087	2,074	21,927	851	2,643	378,638	25,365,256
年度 (令和)	常設展	ビデオ ミュージアム	ふれてみ る学習室	収蔵品展等	特別展 企画展	共催展	ギャラリー	講 堂	展示 説明室	体験 学習室	ナイトミュー ジウム	歴史体験 セミナー	計	累計
元	63,587	2,742	10,838	0	18,952	218,977	134,681	6,172	3,404	21,136	715	7,568	488,772	25,854,028
2	16,421	2,077	6,321	0	14,411	11,721	56,776	861	406	8,786	0	803	118,583	25,972,611
3	35,398	2,051	10,042	0	0	100,031	88,699	1,680	790	2,268	0	10,016	250,975	26,223,586
4	66,715	2,860	13,754	0	4,331	129,091	104,267	2,567	1,177	1,814	0	5,347	331,923	26,555,509
計	3,489,772	841,081	724,205	711,766	692,550	6,535,315	12,553,879	669,958	38,783	208,396	9,184	80,620	26,555,509	

※「ふれてみる学習室」は、平成16年度から「触れてみるコーナー」、「ビデオミュージアム」は平成22年度から「ビデオコーナー」。

※「収蔵品展等」の欄は、平成元年度から22年度については収蔵品展の、27年度については「東日本大震災復興と名古屋」展の入場者数。

出版物案内

(令和 5年 3月31日 現在)

出版物名	刊行年	販売価格
博物館資料叢書3 猿猴庵の本		
(第2回配本) 画誌卯之花笠	2001 年	1,200 円
(第3回配本) 新卑姑射文庫	2002 年	1,200 円
(第4回配本) 絵本清洲川・続梵天錦	2002 年	1,200 円
(第5回配本) 新卑姑射文庫 二編	2002 年	1,200 円
(第6回配本) 新卑姑射文庫 三編	2003 年	1,200 円
(第7回配本) 北斎大画即書細図・女謡曲採要集	2004 年	1,200 円
(第8回配本) 御鋏祭真景図略 一	2004 年	1,200 円
(第9回配本) 御鋏祭真景図略 二	2005 年	1,200 円
(第10回配本) 笠寺出現宝塔絵詞伝	2005 年	1,200 円
(第11回配本) 東街便覧図略 卷二	2005 年	1,200 円
(第12回配本) 御船御行列之図・桜見与春之日置・絵本江崎之春	2006 年	1,200 円
(第13回配本) 泉涌寺霊宝拝見図・嵯峨霊仏開帳志	2006 年	1,200 円
(第14回配本) 絵本駱駝具誌	2007 年	1,200 円
(第15回配本) 御鋏祭真景図略 三	2008 年	1,200 円
(第16回配本) 萱津道場参詣記	2008 年	1,200 円
(第17回配本) 東街便覧図略 卷三	2010 年	1,200 円
(第18回配本) 絵本音聞山	2011 年	1,200 円
(第19回配本) 絵本上雲雀	2012 年	1,200 円
(第20回配本) 東街便覧図略 卷四	2014 年	1,200 円
(第21回配本) 張州勝藍開帳集	2015 年	1,200 円
(第22回配本) 東街便覧図略 卷五	2016 年	1,200 円
(第23回配本) 東街便覧図略 卷六	2017 年	1,200 円
(第24回配本) 東街便覧図略 卷七	2018 年	1,200 円
(第25回配本) 東街便覧図略 卷一(改訂版)	2019 年	1,200 円
(第26回配本) 安永洪水図	2020 年	1,200 円
(第27回配本) 画本開帳談話	2021 年	1,200 円
(第28回配本) 風流甚目寺参詣の記・高田山開帳参案内図会	2022 年	1,200 円
(第29回配本) 猿猴庵日記 天明四年	2023 年	1,200 円
展覧会図録等		
【常設展】「尾張の歴史」ガイドブック	2003 年	700 円
『特別展』 柳宗悦 生誕百年記念	1988 年	800 円
『特別展』 日本の物語絵	1988 年	800 円
『特別展』 日本の美と匠	1992 年	1,000 円
『特別展』 東海百観音名宝展	1993 年	1,200 円
(企画展) れきしどうぶつえん	1995 年	300 円
『特別展』 新博物館態勢	1995 年	500 円
『特別展』 ウィーンの世界と芸術	1997 年	2,300 円
『特別展』 妙法院と三十三間堂	1999 年	1,000 円
(企画展) 中林竹溪	1999 年	500 円
(企画展) おもしろやきもの展 ハンドブック	2000 年	400 円
『特別展』 北の民 アイヌの世界	2000 年	1,000 円
(企画展) 無病息災 一病を克服する知恵と祈りー	2001 年	700 円
『特別展』 19世紀ウィーンへの旅	2003 年	2,500 円
(企画展) 富士見の里 昔の前津 ー江戸から昭和ー	2006 年	800 円
『特別展』 からくり ー見る、作る、遊ぶー	2007 年	600 円
(企画展) 小栗鉄次郎 ー戦火から国宝を守った男ー	2009 年	700 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
『特別展』 妙心寺 一禅の心と美一	2009 年	2,000 円
『特別展』 名古屋400年のあゆみ	2010 年	1,500 円
『特別展』 変革のとき 桃山	2010 年	2,200 円
(企画展) 名古屋タイムズの見た名古屋	2010 年	200 円
『特別展』 古代メキシコ オルメカ文明展	2011 年	2,000 円
『特別展』 狂言でござる	2011 年	1,300 円
『特別展』 芭蕉ー広がる世界、深まる心ー	2012 年	2,000 円
『特別展』 驚きの博物館コレクション	2013 年	1,000 円
『特別展』 マジックの時間 公式ガイドブック	2013 年	500 円
『特別展』 三英傑と名古屋	2014 年	1,200 円
『特別展』 感じる縄文時代	2014 年	600 円
『特別展』 いつだって猫展(初版)	2015 年	2,200 円
『特別展』 名古屋めしのもと	2015 年	1,500 円
(企画展) 採録 名古屋の衣生活	2017 年	1,000 円
『特別展』 北斎だるせん！	2017 年	2,200 円
『特別展』 画僧 月僊	2018 年	2,000 円
(企画展) 書で集う	2019 年	900 円
台風記 (「治水・震災・伊勢湾台風」作文集)	2019 年	1,800 円
(地域展) 尾張の城と城下町 三英傑の城づくり・町づくり 展示ガイドブック	2019 年	1,000 円
『特別展』 模様を着る	2020 年	2,300 円
(企画展) なごやのうつりかわり	2021 年	500 円
『特別展』 大雅と蕪村	2021 年	2,500 円
(企画展)『本校ヨリノ通知綴』抄・『B29空襲日誌』(「戦前を生きる」資料集)	2023 年	500 円
資料図版目録・館蔵品目録		
館蔵品図録Ⅰ	1982 年	1,000 円
館蔵品図録Ⅱ	1987 年	1,000 円
館蔵品百選	1997 年	1,000 円
館蔵品目録 第2分冊	1997 年	1,200 円
館蔵品目録 第4分冊	2000 年	800 円
資料図版目録3 「尾張の俳諧」	2002 年	900 円
資料図版目録4 「くらしのうつりかわり」	2003 年	600 円
資料図版目録5 「愛知の縄文遺跡」	2004 年	1,000 円
資料図版目録6 「尾崎久弥浮世絵コレクション 歌川国貞」	2005 年	900 円
資料図版目録7 「大和古瓦図版目録」	2006 年	700 円
資料図版目録9 「尾張のやきもの」	2013 年	700 円
資料図版目録10 「横井庄一生活資料」	2015 年	700 円
調査研究報告・博物館資料叢書		
博物館資料叢書1 三寶繪	1989 年	3,000 円
調査研究報告Ⅲ 明治期博覧会出品七宝工総覧	1996 年	500 円
調査研究報告Ⅴ 宝玉七宝	2000 年	800 円
調査報告 重要文化財 甚目寺愛染明王坐像	2012 年	1,200 円
幕末 城下町名古屋復元マップ	2013 年	500 円
名古屋城下お調べ帳(冊子)	2013 年	1,000 円
研究紀要		
名古屋市博物館研究紀要 第16巻	1993 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第17巻	1994 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第21巻	1998 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第22巻	1999 年	300 円
名古屋市博物館研究紀要 第24巻	2001 年	900 円

出 版 物 名	刊行年	販売価格
名古屋市博物館研究紀要 第25巻	2002 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第26巻	2003 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第27巻	2004 年	600 円
名古屋市博物館研究紀要 第28巻	2005 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第29巻	2006 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第30巻	2007 年	900 円
名古屋市博物館研究紀要 第31巻	2008 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第32巻	2009 年	600 円
名古屋市博物館研究紀要 第33巻	2010 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第34巻	2011 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第35巻	2012 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第36巻	2013 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第37巻	2014 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第38巻	2015 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第39巻	2016 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第40巻	2017 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第41巻	2018 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第42巻	2019 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第43巻	2020 年	700 円
名古屋市博物館研究紀要 第44巻	2021 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第45巻	2022 年	500 円
名古屋市博物館研究紀要 第46巻	2023 年	500 円

名古屋市博物館 年報 No.46

(令和 4 年度)

発行日 令和 5 年 6 月 1 日

編集
発行 名古屋市博物館

名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1

TEL 052 (853) 2655

FAX 052 (853) 3636